

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人東京医科大学  
理事長 田中 慶

東京医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	111.2 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	581人	199人	599.1人	看護補助者	97人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	26人	10人	27.8人	理学療法士	9人	臨床検査技師	110人
薬 剤 師	64人	0人	64.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	1人
保 健 師	6人	0人	6.0人	視能訓練士	9人	髄 其 他	0人
助 産 師	36人	0人	36.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看 護 師	968人	6人	971.8人	臨床工学技士	18人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	4人	0人	4.0人	栄 養 士	3人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事 務 職 員	367人
管理栄養士	11人	1人	11.0人	診療放射線技師	68人	其 他 の 職 員	32人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	733 人	8 人	741 人
1日当たり平均外来患者数	2,633 人	92 人	2,725 人
1日当たり平均調剤数	803.5 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	130人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	76人	・広範脊柱管狭窄症	12人
・重症筋無力症	96人	・原発性胆汁性肝硬変	62人
・全身性エリテマトーデス	300人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	23人
・再生不良性貧血	67人	・混合性結合組織病	32人
・サルコイドーシス	108人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	12人	・特発性間質性肺炎	10人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	142人	・網膜色素変性症	52人
・特発性血小板減少性紫斑病	130人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	33人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	227人	・神経線維腫症	5人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	59人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	22人	・慢性血栓栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	54人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	59人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	8人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	153人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	77人	・肥大型心筋症	16人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	33人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	27人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	60人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12人	・黄色靭帯骨化症	8人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、 先端巨大症、下垂体機能低下症)	67人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
難治性視神経脊髄炎に対する神経ペプチド遺伝子組み込み免疫制御細胞の開発	毛塚 剛司	眼科学	1,300	⑩補委 文部科学省
緑内障に対する新しい免疫学的・遺伝子学的診断、治療、経過観察法の開発	丸山 勝彦	眼科学	1,100	⑩補委 文部科学省
制御性樹状細胞を誘導させたドナー角膜による新しい移植免疫制御システムの開発	熊倉 重人	眼科学	900	⑩補委 文部科学省
難治性ぶどう膜網膜炎の発症および再発に関する補助シグナル分子の検討	臼井 嘉彦	眼科学	2,400	⑩補委 文部科学省
治療抵抗性内因性ぶどう膜炎の原因解明と新規治療法開発のための免疫学的研究	奥貫 陽子	眼科学	1,300	⑩補委 文部科学省
悪性胸膜中皮腫に対する次世代型発光ダイオード診断治療装置の開発	臼田 実男	外科学1	800	⑩補委 文部科学省
癌に対する低侵襲局所療法と樹状細胞癌ワクチン療法との融合による相乗効果	佐治 久	外科学1	900	⑩補委 文部科学省
非小細胞肺癌におけるSISH法を用いた遺伝子増幅解析とEGFR-TKI耐性の検討	吉田 浩一	外科学1	700	⑩補委 文部科学省
非変性/変性対角線電気泳動による天然変性蛋白質の分離同定と翻訳修飾解析	川上 隆雄	外科学1	1,400	⑩補委 文部科学省
チオール基の酸化還元を指標にした診断バイオマーカー蛋白質の同定と検証	川上 隆雄	外科学1	800	⑩補委 文部科学省
Hedgehogによる白血病幹細胞維持の分子メカニズム	岡部 聖一	内科学1	2,000	⑩補委 文部科学省
急性前骨髄性白血病細胞の組織浸潤機構解明による新規治療法の立案	後藤 明彦	内科学1	1,000	⑩補委 文部科学省
miRNAによる悪性リンパ腫の治療効果判定予測と生物学的意義の解明	吉澤 成一郎	内科学1	1,100	⑩補委 文部科学省
臓器障害進展予測指標としての脈波解析指標の有用性の確立	富山 博史	内科学2	3,000	⑩補委 文部科学省
新規シトルリン抗原同定一関節リウマチにおける病原性の解明とバイオマーカーへの展開	沢田 哲治	内科学3	900	⑩補委 文部科学省
股関節シュミレーターを使用した各種超高分子ポリエチレンの摩耗特性の検討	山本 謙吾	整形外科	1,000	⑩補委 文部科学省
ヒト変形性関節症における軟骨破壊の分子機構の解明	澤地 恭昇	整形外科	1,600	⑩補委 文部科学省
肥厚性瘢痕病態解明と治療薬開発のための基礎動物研究	松村 一	形成外科学	500	⑩補委 文部科学省
婦人科癌における新規パクリタキセル感受性遺伝子によるテーラーメイド医療の確立	井坂 恵一	産科婦人科学	800	⑩補委 文部科学省
めまいの新概念、半規管クプラの形態異常に関する基礎的研究	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	700	⑩補委 文部科学省
頭頸部領域の前癌病変と扁平上皮癌における癌化および進展のメカニズムの解明	北村 剛一	耳鼻咽喉科学	500	⑩補委 文部科学省
NFκB-IL6系を標的とした難治性前立腺癌の進展と癌随伴症に対する新規治療戦略	中島 淳	泌尿器科学	1,000	⑩補委 文部科学省
新生児の脳循環と体循環の経時的評価ー脳自動調節能の考察ー	高見 剛	小児科学	1,200	⑩補委 文部科学省
睡眠覚醒リズムからみた集中治療環境でのせん妄病態とメラトニン拮抗剤治療の効果	高江洲 義和	精神医学	1,800	⑩補委 文部科学省
新規開発の定型化アプローチを用いた救急診療技術の伝承とIT応用手法の実践的研究	織田 順	救急医学	4,600	⑩補委 文部科学省

小計 25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
診療フレーム解析による救急医療の標準化阻害因子とその解決策に関する研究	織田 順	救急医学	900	③補委 文部科学省
尋常性ざ瘡における微生物叢の網羅的解析とマラセチア関与の解明	齋藤 磨美	皮膚科学	1,200	③補委 文部科学省
敗血症性脳症誘発機序の基礎的解明	内野 博之	麻酔科学	2,600	③補委 文部科学省
血小板ミトコンドリアの呼吸機能とCa <sup>2+</sup> 取り込み能に対する吸入・静脈麻酔薬の影響	野口 将	麻酔科学	1,300	③補委 文部科学省
顎骨再生に向けたPTHとCOX-2の骨形成相互解明	近津 大地	口腔外科学	1,000	③補委 文部科学省
口腔癌の顎骨浸潤・骨破壊に対するPTH・COX-2による新たな治療戦略	里見 貴史	口腔外科学	1,700	③補委 文部科学省
ハイドロキシアパタイト骨補填材の骨親和性に対するCOX-2の役割	長谷川 温	口腔外科学	2,200	③補委 文部科学省
非小細胞肺癌におけるEGFRを標的としたナノ粒子によるオートファジー誘導療法	横山 智央	臨床腫瘍科	800	③補委 文部科学省
初期臨床研修医に対するSNAPPSモデルを用いた外来診療能力の向上の検討	関 正康	総合診療科	1,200	③補委 文部科学省
ベーチェット病に関する調査研究	後藤 浩	眼科学	1,000	③補委 厚生労働省
急性網膜壊死の診断基準に関する調査研究	後藤 浩	眼科学	500	③補委 厚生労働省
粒子線治療の有効性、適応、費用対効果に関する総合的研究	池田 徳彦	外科学1	900	③補委 厚生労働省
肺癌に対するWT1ペプチド免疫療法の開発	池田 徳彦	外科学1	4,000	③補委 厚生労働省
抹消小型非小細胞肺癌に対する縮小手術の有用性を検証する研究	佐治 久	外科学1	1,000	③補委 厚生労働省
がん化パスウェイネットワークが規定するがんの分子標的解析並びに予後予測法の確立	野村 将春	外科学1	2,000	③補委 厚生労働省
術中大量出血時の凝固障害機序の解明と止血のための輸血療法の確立―手術中の大量出血をいかにして防ぐか―	荻野 均	外科学2	6,000	③補委 厚生労働省
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	土田 明彦	外科学3	2,500	③補委 厚生労働省
手術摘出肝組織における微小転移の診断	土田 明彦	外科学3	500	③補委 厚生労働省
肺胞蛋白症の難治化要因の解明と診断、治療、管理の標準化と指針の確立	瀬戸口 靖弘	内科学1	500	③補委 厚生労働省
発性肺線維症急性増悪及び薬剤性肺障害に関与する日本人特異的遺伝素因に関する研究	瀬戸口 靖弘	内科学1	250	③補委 厚生労働省
門脈血行異常症に関する調査研究	森安 史典	内科学4	15,385	③補委 厚生労働省
難治性瘵疾患に関する調査研究	糸井 隆夫	内科学4	500	③補委 厚生労働省
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	西 洋孝	産科婦人科学	1,800	③補委 厚生労働省
前庭機能異常に関する調査研究	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	17,692	③補委 厚生労働省
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	600	③補委 厚生労働省

小計 25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	河島 尚志	小児科学	255	補委 厚生労働省
序の解明とそれに基づく治療法、予防法の確立に関する研究	河島 尚志	小児科学	1,500	補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	宮島 祐	小児科学	255	補委 厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	山本 謙吾	整形外科	500	補委 厚生労働省
精神保健医療福祉体系の改革に関する研究	丸田 敏雅	精神医学	1,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[PDT半導体レーザー・タラポルフィンナトリウム]	秋元 治朗	脳神経外科学	1,000	補委 厚生労働省
国内未承認エイズ治療薬等を用いたHIV感染症治療薬及びHIV感染症至適治療法の開発に係る応用研究	福武 勝幸	臨床検査医学	131,400	補委 厚生労働省
血友病とその治療に伴う合併症の克服に関する研究	稲葉 浩	臨床検査医学	1,300	補委 厚生労働省
生活習慣病予防活動・疾病管理による健康指標に及ぼす効果と医療費適正化効果に関する研究	織田 順	救急医学	600	補委 厚生労働省
我が国への侵入が危惧される蚊媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策の確立に関する研究	濱田 篤郎	渡航者医療センター	1,600	補委 厚生労働省
多視点化による「共有する医療」の実現に向けた研究	行岡 哲男	救急医学	4,028	補委 科学技術振興機構
弾性繊維形成タンパク質を標的とした疾患診断、治療薬の開発	富山 博史	内科学2	1,154	補委 科学技術振興機構
末梢部肺癌用レーザー治療器に関する研究	臼田 実男	外科学1	3,415	補委 日本原子力研究開発機構
呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	池田 徳彦	外科学1	1,100	補委 国立がん研究センター
難治性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	森安 史典	内科学4	120	補委 国立がん研究センター
科学的根拠に基づいた循環器診療評価指標の基盤体制構築に関する研究	荻野 均	外科学2	1,000	補委 国立循環器病研究センター
循環器領域における感染対策および感染症の診療指針の確立に関する研究	荻野 均	外科学2	900	補委 国立循環器病研究センター
加齢・認知症における脳皮質下病変の危険因子とその臨床的意義に関する縦断研究	岩本 俊彦	老年病学	1,500	補委 国立長寿医療研究センター
海外渡航者及び帰国者のための効果的な診療体制整備に関する研究	濱田 篤郎	渡航者医療センター	1,500	補委 国立国際医療研究センター
眼内炎症疾患の病態解明と治療法の開発	臼井 嘉彦	眼科学	2,000	補委 上原記念生命科学財団
ベーチェット病ぶどう膜炎における新規治療法の開発	奥貫 陽子	眼科学	1,000	補委 日本応用酵素協会

小計 21件

合計 71件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

論文発表等の実績

2. 論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
1	MED TEACH 33:410-417, 2011	A model teaching session for the hypothesis-driven physical examination	Nishigori H.	総合診療科
2	Jpn J Appl Physiol 41(2):61-67, 2011	心不全における心耳機能の重要性—アルドステロン分泌抑制の視点から—	塩川 玄三	総合診療科
3	J Thorac Imaging 27;W24-W26, 2012	High-resolution Computed Tomography Findings in a Case of Severe Leptospira Infection(Weil Disease) Complicated with Jarish-Herxheimer Reaction	Tsuyoshi Hashimoto	総合診療科
4	Oncogene 30: 2789-2797, 2011	Combined effects of novel heat shock protein 90 inhibitor NVP-AUY922 and nilotinib in a random mutagenesis screen	Tauchi T.	血液内科
5	J Hematol Oncol 4: 32, 2011	The efficacy of dual O13K and mTOR inhibitor, NVP-BEZ235 against BCR-ABL positive leukemia cells include ABL kinase domain mutation in combination with nilotinib	Okabe S.	血液内科
6	Int J Hematol 93: 36-46, 2011	Safety and efficacy of the terminal complement inhibitor eculizumab in Japanese patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria: the AEGIS clinical trial	Kanakura Y <sup>*</sup>	血液内科
7	PLoS One 6: e16408, 2011	Important clinical impact of down-regulated plasma miR-92a levels in non-Hodgkin's lymphoma	Ohyashiki K.	血液内科
8	Hematology 16: 139-142, 2011	Non-random chromosomal deletion clustering at 20q13 in Waldenström macroglobulinemia	Kitahara T.	血液内科
9	Anal Biochem 415: 145-150, 2011	Single molecule methylation assay (SMMA): a novel technology for the quantification of global DNA methylation using fluorescence correlation spectroscopy	Umezu T.	血液内科
10	Leukemia 25: 110-120, 2011	Impact of adjunct cytogenetic abnormalities for prognostic stratification in patients with myelodysplastic syndrome and deletion 5q	Mallo M <sup>*</sup>	血液内科
11	Leuk Res 35: 585-590, 2011	The TARGET investigators. Seven-year follow-up of patients receiving imatinib for the treatment of newly diagnosed chronic myelogenous leukemia by the TARGET system	Tauchi T.	血液内科

小計  
11件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
12	Eur J Haematol 86: 117-23, 2011	Cladribine combined with rituximab (R-2-CdA) therapy is an effective salvage therapy in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma	Nagai H*.	血液内科
13	J Infect Chemother 17: 68-69, 2011	Clinical efficacy and safety of biapenem for febrile neutropenia in patients with underlying hematopoietic diseases: a multi-institutional study	Nakagawa Y*.	血液内科
14	Leukemia 25: 1049-1050, 2011	The t(4;9)(q11;q33) fuses CEP11 to KIT in a case of acute myeloid leukemia	Grand H*.	血液内科
15	Cancer Sci 102: 1680-1686, 2011	Japanese phase I/II study of azacytidine in patients with myelodysplastic syndromes	Uchida T*.	血液内科
16	Int J Hematol 93: 827-829, 2011	5q- syndrome in Japan	Tasaka T*.	血液内科
17	Ann Oncol 22: 1382-1391, 2011	Phase III trial of CHOP-21 versus CHOP-14 for aggressive non-Hodgkin's lymphoma: final results of the Japan Clinical Oncology Group Study, JCOG 9809	Ohmachi K.	血液内科
18	Blood 117: 2366-2372, 2011	A randomized comparison of 4 courses of standard-dose multiagent chemotherapy versus 3 courses of high-dose cytarabine alone in postremission therapy for acute myeloid leukemia in adults: the JALSG AML201 Study	Miyawaki S*.	血液内科
19	Leukemia 25: 41-47, 2011	Pre-transplant imatinib-based therapy improves the outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for BCR-ABL-positive acute lymphoblastic leukemia	Mizuta S*.	血液内科
20	Blood 117: 2358-2365, 2011	Randomized study of induction therapy comparing standard-dose idarubicin with high-dose daunorubicin in adult patients with previously untreated acute myeloid leukemia: the JALSG AML201 Study	Ohtake S*.	血液内科
21	Methods Mol Biol 730: 79-88, 2011	Cytogenetics in myelodysplastic syndromes	Ohyashiki K.	血液内科
22	Immun Ageing 8: 11, 2011	Age-related decrease of miR-92a level in human CD8+ T-cells correlates with a reduction of naïve T lymphocytes	Ohyashiki M.	血液内科

小計  
11件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
23	Leukemia 25: 41-47, 2011	Pre-transplant imatinib-based therapy improves the outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for BCR-ABL-positive acute lymphoblastic leukemia	Mizuta S*	血液内科
24	臨床血液 52: 210-215, 2011	後天性von Willebrand症候群及びSjögren 症候群を併発し、Rituximabが有効であった胸腺原発MALTリンパ腫	岩淵多光子	血液内科
25	臨床血液 52: 1859-1869, 2011	日本人におけるボルテゾミブ治療に関連した肺障害の発現状況	向井 陽美*	血液内科
26	日本化学療法学会雑誌 59: 597-604, 2011	硫酸アルベカシンの至適血中ピーク濃度を達成するための用量設定試験	木村 利美*	血液内科
27	癌と化学療法 38: 1667-1672, 2011	造血器悪性腫瘍患者におけるピンカアルカロイド系抗癌薬とアゾール系抗真菌薬併用による神経毒性の後方視的解析	大里 洋一	血液内科
28	癌と化学療法 38: 749-753, 2011	慢性骨髄性白血病治療におけるイマチニブ抵抗性の機序とその克服	田内 哲三	血液内科
29	Am J Hypertens 24(10): 1080-1086, 2011	Arterial-cardiac destiffening following long-term antihypertensive treatment	Tomiya H.	循環器内科
30	Atherosclerosis 217(2): 433-436, 2011	Relationships among the serum omega fatty acid levels, serum C-reactive protein levels and arterial stiffness/wave reflection in Japanese men	Tomiya H.	循環器内科
31	Atherosclerosis 217(1): 130-134, 2011	Effects of aging and persistent prehypertension on arterial stiffening	Tomiya H.	循環器内科
32	Am J Hypertens 24(7): 770-774, 2011	Relationships among hyperuricemia, metabolic syndrome, and endothelial function	Tomiya H.	循環器内科
33	J Tokyo Med Univ 69(4): 489-497, 2011	Physiological basis for stress-induced myocardial stunning as assessed by gated single-photon emission computed tomography	Tanaka H.	循環器内科
34	Circ J 75(9): 2206-2212, 2011	Importance of the ankle-brachial pressure index in the diagnosis of coronary artery disease in women with diabetes without anginal pain	Igarashi Y.	循環器内科

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
35	Am J Hypertens 24 (8) : 881-886, 2011	Increased arterial stiffness weakens the relationship between wave reflection and the central pressure indexes in men younger than 60 years of age	Odaira M.	循環器内科
36	Resp Med 105 (4) : 643-649, 2011	Severe obstructive sleep apnea increases cystatin C in clinically latent renal dysfunction	Kato K.	循環器内科
37	Eur Heart J 32 (17) : 2153-2160, 2011	The value of a family history of sudden death in patients with diagnostic type I Brugada ECG pattern	Sarkozy A <sup>†</sup> .	循環器内科
38	Nucl Med Commun 32 (10) : 913-919, 2011	Incremental prognostic value of myocardial perfusion single photon emission computed tomography for patients with diabetes and chronic kidney disease	Okuyama C <sup>†</sup> .	循環器内科
39	日本臨床生理学会雑誌 41 (2) : 55-60, 2011	高齢者初発2型糖尿病症例における $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬投与による血流依存性血管反応の改善効果	春日 哲也	循環器内科
40	日本臨床生理学会雑誌 41 (2) : 61-67, 2011	心不全における心耳機能の重要性—アルドステロン分泌抑制の視点から—	塩川 玄三 <sup>†</sup>	循環器内科
41	J Echocardiogr 9: 36-38, 2011	Clinical significance of coronary flow velocity measurement using transthoracic Doppler echocardiography for unstable angina: a two-case report	Takei Y.	循環器内科
42	Acta Cardiol 66 (4) : 531-534, 2011	You can't judge a book by its cover: a pseudo 1st degree A-V block in apparent absence of retrograde conduction	Sorgente A <sup>†</sup> .	循環器内科
43	Pacing Clin Electrophysiol 34 (11) : 98-101, 2011	Dissociation between anterograde and retrograde conduction during transvenous cryoablation of parahissian accessory pathways	Sorgente A <sup>†</sup> .	循環器内科
44	心臓 43 (sup111) : 87-91, 2011	電話によるCPRの指導により救命しえた特発性心室細動の1例	斎藤友紀雄	循環器内科
45	Circ J 76 (1) : 168- 175, 2012	Cardiac event risk in Japanese subjects estimated using gated myocardial perfusion imaging, in conjunction with diabetes mellitus and chronic kidney disease.	Nakajima K <sup>†</sup>	循環器内科
46	Circ J 76 (2) : 430- 438, 2012	Postischemic myocardial stunning is superior to transient ischemic dilation for detecting multivessel coronary artery disease.	Hida S	循環器内科

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
47	Heart Vessels 27 (2) : 166-173, 2012	Obstructive sleep apnea as a potential risk factor for aortic disease.	Saruhara H	循環器内科
48	Endcr J. 58 (10) : 913-918 - 2011	A case of central diabetes insipidus following probable type A/H1N1 influenza infection	Kobayashi Takaaki	糖尿病・代謝・内分泌内科
49	心臓 43: 362-368, 2011	診断の過程で心臓MRIが有用であったミトコンドリア心筋症の1例	荒井梯子	糖尿病・代謝・内分泌内科
50	Endocrine Journal 59 (2) 297-304, 2011	Administration of highly purified eicosapentaenoic acid to statin-treated diabetic patients further improves vascular function.	Sasaki J	糖尿病・代謝・内分泌内科
51	糖尿病 54: 499-502	多腺性自己免疫症候群2型の1型糖尿病発症に関する考察 抗GAD抗体陽性で糖尿病未発症の1例	糸川真理	糖尿病・代謝・内分泌内科
52	Diabetes Frontier 22巻4号 : 419-427	糖尿病・アルコール依存症を基礎疾患にもつ患者が意識障害で救急搬送され、回復に時間を要した1例	井上英昭	糖尿病・代謝・内分泌内科
53	Springer Healthcare ORIGINAL ARTICLE Diabetol Int (2011) 2:32-44	Addition of sitagliptin to ongoing glimepiride therapy in Japanese patients with type 2 diabetes over 52 weeks leads to improved glycemic control	Naoko Tajima	糖尿病・代謝・内分泌内科
54	Springer Healthcare ORIGINAL ARTICLE Diabetol Int (2011) 2:94-105	Long-term safety, tolerability, and efficacy of the dipeptidyl peptidase-4 inhibitor in Japanese patients with type 2 diabetes	Masato Odawara	糖尿病・代謝・内分泌内科
55	Rheumatol Int (2011) 31:1247- 1250	Severe headache complicated by vertical atlantoaxial subluxation in diffuse systemic sclerosis with crowned dens pattern calcification	Aki Shoji	糖尿病・代謝・内分泌内科
56	Rheumatol Int 31 (9) :1247- 1250, 2011	Severe headache complicated by vertical atlantoaxial subluxation in diffuse systemic sclerosis	Shoji A.	リウマチ・膠原病内科
57	J Rheumatol 38 (7) :1258- 1264, 2011	Incidence and risk factors for serious infection in patients with rheumatoid arthritis treated with tumor necrosis factor inhibitors:A report from the registry of Japanese rheumatoid arthritis patients for longterm safety	Komano Y. *	リウマチ・膠原病内科
58	Mod Rheumatol 22 (3) :405-413, 2011	Clinical characteristics of neuro-Behcet's disease in Japan:a multicenter retrospective analysis	Hirohata S. *	リウマチ・膠原病内科

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
59	Arthritis Res Ther 13 (6) : R191, 2011	Detection of autoantibody to citrullinated BiP in rheumatoid arthritis patients and pro-inflammatory roles of citrullinated BiP in collagen-induced arthritis	Shoda H.*	リウマチ・膠原病内科
60	World J Gastroenterol 17 (8) : 1045-1050, 2011	Arterial-phase contrast-enhanced ultrasonography for evaluating anti-angiogenesis treatment: a pilot study	Yoshida K*	消化器内科
61	Gastrointest Endosc 73 (2) : 376-382, 2011	Therapeutic endoscopy for stenotic pancreatodigestive tract anastomosis after pancreatoduodenectomy (with videos)	Kikuyama M	消化器内科
62	Dig Dis Sci 56 (6) : 1889-1895, 2011	A multicenter prospective study of the short-term outcome of a newly developed partially covered self-expandable metallic biliary stent (WallFlex®)	Tsuchiya T	消化器内科
63	J Gastroenterol 46 (6) : 843-853, 2011	EUS elastography combined with the strain ratio of tissue elasticity for diagnosis of solid pancreatic masses	Ito K F	消化器内科
64	AJR Am J Roentgenol 196 (6) : W753-757, 2011	A phantom study comparing ultrasound-guided liver tumor puncture using new real-time 3D ultrasound and conventional 2D ultrasound	Sugimoto K	消化器内科
65	World J Gastroenterol 17 (21) : 2652-2657, 2011	Endoscopic removal and trimming of distal self-expandable metallic biliary stents	Ishii K	消化器内科
66	Hepato Res 41 (9) : 838-845, 2011	Clarification of interspousal hepatitis C virus infection in acute hepatitis C patients by molecular evolutionary analyses: Consideration on sexual and non-sexual transmission between spouses	Nakamura I	消化器内科
67	Jpn J Clin Oncol 41 (8) : 953-958, 2011	Multicenter phase II study of Gemcitabine and S-1 combination therapy (GS therapy) in patients with metastatic pancreatic cancer	Ueno H*	消化器内科
68	Dig Liver Dis 43 (3) : 237-241, 2011	Large balloon dilatation following endoscopic sphincterotomy using a balloon enteroscope for the bile duct stone extractions in patients with Roux-en-Y anastomosis	Itoi T	消化器内科
69	Surg Endosc 25 (3) : 713-721, 2011	Long- and short-type double-balloon enteroscopy-assisted therapeutic ERCP for intact papilla in patients with a Roux-en-Y anastomosis	Itoi T	消化器内科
70	J Hepatobiliary Pancreat Sci 18 (3) : 463-467, 2011	Endoscopic placement of a new short-term biodegradable pancreatic and biliary stent in an animal model: a preliminary feasibility study (with videos)	Itoi T	消化器内科

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
71	Hepatogastroenterology 58 (106) : 290-297, 2011	Chemoprevention of chemically-induced biliary carcinogenesis in hamsters by vitamin K2	Tsuchida A	消化器内科
72	World J Gastroenterol: 17 (30) : 3503-3509, 2011	Diagnostic efficacy of gadoxetic acid-enhanced MRI for hepatocellular carcinoma and dysplastic nodule	Saito K	消化器内科
73	Dig Endosc 23 (4) : 310-315, 2011	Results of a Japanese multicenter, randomized trial of endoscopic stenting for non-resectable pancreatic head cancer (JM-TEST): covered wallstent versus doublelayer stent	Isayama H*	消化器内科
74	Oncol Rep 26 (6) : 1399-1406, 2011	Hypoxia-inducible factor-1 $\alpha$ expression and gemcitabine chemotherapy for pancreatic cancer	Kasuya K	消化器内科
75	Clin Gastroenterol Hepatol 9 (10) : 851-858, 2011	Endoscopic pancreatic duct stents reduce the incidence of post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis in high-risk patients	Sofuni A	消化器内科
76	World J Gastroenterol 17 (37) : 4191-4198, 2011	Decreased accumulation of ultrasound contrast in the liver of nonalcoholic steatohepatitis rat model	Miyata Y	消化器内科
77	Endoscopy 43 (12) : 1070-1075, 2011	Carbon dioxide insufflation vs. conventional saline irrigation for peroral video cholangioscopy	Doi S*	消化器内科
78	Hepatogastroenterology 58 (112) : 1877-1881, 2011	Significance of CD44s and CD44v6 Expression in Pancreaticobiliary Maljunction	Tsuchida A	消化器内科
79	Endoscopy 43 (4) : 369-372, 2011	Endoscopic hemostasis using covered metallic stent placement for uncontrolled post-endoscopic sphincterotomy bleeding	Itoi T	消化器内科
80	Gastrointest Endosc 74: 1040-1048, 2011	Magnetic compression anastomosis is useful in biliary anastomotic strictures after living donor liver transplantation	Jang SI	消化器内科
81	Gastric Cancer 14: 22-27, 2011	Correlation between endoscopic macroscopic type and invasion depth for early esophagogastric junction adenocarcinomas	Oda I*	消化器内科
82	Gastric Cancer 14: 56-62, 2011	Clinical impact of a strategy involving endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: determining the optimal pathway	Nonaka S*	消化器内科
83	Gastric Cancer 14: 35-40, 2011	Depth-predicting score for differentiated early gastric cancer	Abe S*	消化器内科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
84	Am J Gastroenterol 106: 1064-1069, 2011	Should elderly patients undergo additional surgery after non-curative endoscopic resection for early gastric cancer? Long-term comparative outcomes	Kusano C*	消化器内科
85	J Hepatobiliary Pancreat Sci 2011 Oct 25; [Epub ahead of print]	Evaluation of effects of a novel endoscopically applied radiofrequency ablation biliary catheter using an ex-vivo pig liver	Itoi T	消化器内科
86	World J Radiol 3 (12): 298-305, 2011	Image of tumor metastasis and inflammatory lymph node enlargement by contrast-enhanced ultrasonography	Aoki T	消化器内科
87	Exp Ther Med 2011 (in press)	Anti-vascular endothelial growth factor antibody single therapy for pancreatic neuroendocrine carcinoma exhibits a marked tumor growth-inhibitory effect	Kasuya K	消化器内科
88	J Hepatobiliary Pancreat Sci 18 (2): 282-286, 2011	Endoscopic ultrasonography-guided gallbladder drainage: actual technical presentations and review of the literature (with videos)	Itoi T	消化器内科
89	World J Gastrointest Endosc 3 (1): 1-5, 2011	Endoscopic diagnosis of pancreaticobiliary maljunction	Kamisawa T*	消化器内科
90	J Hepatobiliary Pancreat Surg 18 (3): 357-365, 2011	Magnetic compression anastomosis for biliary obstruction: review and experience at Tokyo Medical University Hospital	Itoi T	消化器内科
91	J Hepatobiliary Pancreat Sci 18 (3): 375-379, 2011	Spiral enteroscopy for therapeutic ERCP in patients with surgically altered anatomy: actual technique and review of the literature	Kogure H	消化器内科
92	ISRN Surg 2011: articleID 827465, 2pages, 2011	Reconsideration of laparoscopic cholecystectomy	Kasuya K	消化器内科
93	J Hepatobiliary Pancreat Sci 18 (5): 664-672, 2011	Stent selection and tips on placement technique of EUS-guided biliary drainage: transduodenal and transgastric stenting	Itoi T	消化器内科
94	Expert Opin Pharmacother 12 (14): 2149-2159, 2011	Management strategies for autoimmune pancreatitis	Kamisawa T*	消化器内科
95	Gastrointest Endosc 73 (4): 707-709, 2011	Making sense of meta-analyses on the use of protease inhibitors for the prevention of post-ERCP pancreatitis	Baron TH	消化器内科
96	J Hepatobiliary Pancreat Sci 18 (3): 380-385, 2011	Ultrasonography-guided hepatic tumor resection using a real-time virtual sonography with indocyanine green navigation (with videos)	Kasuya K	消化器内科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
97	J Gastroenterol Hepatol 26(12): 1702-1708, 2011	Current status on the diagnosis and management of pancreatic cysts in the Asia-Pacific region: role of endoscopic ultrasound	Lim LG*	消化器内科
98	J Gastroenterol 46(1): 108-116, 2011	Serum IgG4-negative autoimmune pancreatitis	Kamisawa T*	消化器内科
99	J Hepatobiliary Pancreat Sci 18(3): 295-303, 2011	The current potential of high-intensity focused ultrasound for pancreatic carcinoma	Sofuni A	消化器内科
100	脾臓 26: 11-22, 2011	脾疾患画像診断における最近の進歩: Sonazoidを用いた造影超音波診断の有用性	祖父尼 淳	消化器内科
101	日本内科学会雑誌 100(5): 1409-1417, 2011	医学と医療の最前線: 脾・胆道疾患の内視鏡治療最前線	糸井 隆夫	消化器内科
102	Helicobacter Research 15(1): 20-23, 2011	Helicobacter pylori除菌後GERDの実態: Helicobacter pylori除菌によるGERDの変化と内視鏡的胃炎 逆流性食道炎を中心に	八木 健二	消化器内科
103	Pancreas 40(1): 171-173, 2011	A case of 1p36 deletion syndrome accompanied with anomalous arrangement of the pancreaticobiliary duct	Kawashima H	消化器内科
104	Gastrointest Endosc 73(4): 841-843, 2011	Initial experience with a prototype peroral direct cholangioscope to perform intraductal lithotripsy (with video)	Itoi T	消化器内科
105	Gastrointest Endosc 73(2): 398-401, 2011	EUS-guided rendezvous with single-balloon enteroscopy for treatment of stenotic pancreaticojejunal anastomosis in post-Whipple patients (with video)	Itoi T	消化器内科
106	Magn Reson Med Sci 10(4): 245-249, 2011	Gd-EOB-DTPA-enhanced MR imaging findings of hepatocellular adenoma: Correlation with pathological findings	Takara K	消化器内科
107	J Hepatobiliary Pancreat Sci 18(5): 751-753, 2011	Life-threatening hemorrhage from the papilla following stent removal (with video)	Tsuji S	消化器内科
108	Progress of Digestive Endoscopy 79(2): 25-26, 2011	第92回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集: パネルディスカッション司会者統括 拡大・強調画像内視鏡の実際 (咽頭・消化管から胆膵まで)	祖父尼 淳	消化器内科
109	Internal Medicine 50(18): 1905-1910, 2011	Triple Therapy with Single Daily Doses of Cyclosporine in Japanese Patients with Idiopathic Membranous Nephropathy	Matsumoto H	腎臓内科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
110	Journal of renal nutrition 21 (4) :340-346, 2011	Benefits of Staple Food Restriction for Japanese Obese Patients With Chronic Kidney Disease:A Pilot Study	Matsumoto H	腎臓内科
111	Nephrology 16 (3) :319-325, 2011	Clinical evaluation of chronic nephrotoxicity of long-term cyclosporine A treatment in adult patients with steroid-dependent nephrotic syndrome	Okada T	腎臓内科
112	Internal Medicine 50 (1) :23-29, 2011	Influence of Proteinuria on Glycated Albumin Values in Diabetic Patients with Chronic Kidney Disease	Okada T	腎臓内科
113	Nephrology 16 (3) :476-482, 2011	Benefits of first-half intensive haemodiafiltration for the removal of uraemic solutes	Nagaoka Y	腎臓内科
114	日本老年医学会雑誌・48・104-106・2011	認知症と生活習慣病—オーバービュー—	岩本俊彦	老年病科
115	日本老年医学会雑誌・48・466-474・2011	老年医学からみた脳血管障害	岩本俊彦	老年病科
116	Eur J Neurol 18・784-788・2011	Regional cerebral blood flow changes in patients with idiopathic REM sleep behavior disorder.	Hanyu H	老年病科
117	Psychiatry Res 190・145-148・2011	Japanese version of the Test Your Memory as a screening test in a Japanese memory clinic.	Hanyu H	老年病科
118	人間ドッグ・26・448-453・2011	総説・生活習慣病と認知症	羽生春夫	老年病科
119	Dementia Japan 25・16-23・2011	血管性認知症のneuroimaging.	羽生春夫	老年病科
120	Geriatr Gerontol Int 11・374-375・2011	The category 'animals' is more appropriate than the category 'vegetables' to measure semantic category fluency.	Sakurai H	老年病科
121	Geriatric Gerontology international 11・211-214・2011	Vascular risk factors and progression in Alzheimer's disease	Sakurai H	老年病科
122	Atherosclerosis 215・392-398・2011	Differential expression of oxidized/native lipoprotein(a) and plasminogen in human carotid and cerebral artery plaques	Umahara T	老年病科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
123	Brain Res・1410・1-11・2011	Differential expression of 14-3-3 protein isoforms in developing rat hippocampus, cortex, rostral migratory stream, olfactory bulb, and white matter.	Umahara T	老年病科
124	Dement Geriatr Cogn Disord Extra・1・62-74・2011	A longitudinal SPECT study of different patterns of regional cerebral blood flow in Alzheimer disease with or without diabetes.	Hirao K	老年病科
125	Neurobiol Aging 32・1626-1633・2011	Efficacy of PPAR- $\gamma$ agonist pioglitazone in mild Alzheimer disease.	Sato T	老年病科
126	J Am Geriatr Soc 59・947-948・2011	Differentiation of olfactory dysfunction between patients with dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease.	Sato T	老年病科
127	J Neurol Sci. 308・149-151・2011	Familial normal pressure hydrocephalus (NPH) with an autosomal-dominant inheritance: A novel subgroup of NPH.	Takahashi Y*	老年病科
128	Endocrine Journal 58・109-115・2011	Clinical backgrounds and morbidity of cognitive impairment in elderly diabetic patients.	Yamazaki Y*	老年病科
129	東京医科大学雑誌・69・3・349-360・2011	頸動脈病変の形態診断における3D超音波法の有用性	赤井 知高	老年病科
130	Geriatr Gerontol Int・11・77-82・2011	Frontal Assessment Battery and brain perfusion images in amnesic mild cognitive impairment.	Kume K	老年病科
131	J Neurol 258:1295-1303, 2011	Vascular risk factors are associated with faster decline of Alzheimer disease: a longitudinal SPECT study.	Kume K	老年病科
132	東京医科大学雑誌・69・1・127-128・2011	老年期認知症における quantitative PCR法を用いたテロメア長の検討	久米一誠	老年病科
133	J Gerontol A Biol Sci Med Sci・67A (4)・330-335・2012	Association Between ApoE Phenotypes and Telomere Erosion in Alzheimer's Disease	Takata Y	老年病科
134	Geriatr Gerontol Int. 12(2):207-14. 2012	Effects of telmisartan on cognition and regional cerebral blood flow in hypertensive patients with Alzheimer's disease.	Kume K	老年病科
135	Parkinsonism Relat Disord. 18(2):136-9. 2012	Voxel-based magnetic resonance imaging study of structural brain changes in patients with idiopathic REM sleep behavior disorder.	Hanyu H	老年病科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
136	Eur J Neurol. 19 (6) :905-10. 2012	Telomere length shortening in patients with dementia with Lewy bodies.	Kume K	老年病科
137	Haemophilia 17 (5) :771-776. 2011	An analysis of factors affecting the incidence of inhibitor formation in patients with congenital haemophilia in Japan	Shirahata A*	臨床検査医学科
138	臨床病理 59 (1) :37-41, 2011	血清マトリックスメタロプロテナーゼ-3は血友病性関節症の評価には有用ではない	尾形 享一	臨床検査医学科
139	日本検査血液学会雑誌 12 (3) :312-321, 2011	交差混合試験における混合比率およびコントロール血漿に関する検討-コアプレスタミキシングテスト研究会における結果報告(第1報)-	家子 正裕*	臨床検査医学科
140	臨床血液 52 (4) :210-215, 2011	後天性von Willebrand症候群及びSjogren症候群を併発し、Rituximabが有効であった胸腺原発MALTリンパ腫	岩淵多光子	臨床検査医学科
141	J Infect Chemother 17 (5) :602-608, 2011	Investigation of emtricitabine-associated skin pigmentation and safety in HIV-1-infected Japanese patients	Shirasaka T*	臨床検査医学科
142	j Thromb Haemost 9 (6) :1183-1190, 2011	Most factor VIII B domain missense mutations are unlikely to be causative mutations for severe hemophilia A: implications for genotyping	Ogata k	臨床検査医学科
143	J Infect Chemother 17 (6) :863-865, 2011	Mutations to the probe of Cobas TaqMan HIV-1 ver. 1.0 assay causing undetectable viral load in a patient with acute HIV-1 infection	Yotsumoto M	臨床検査医学科
144	日本内科学会雑誌 100 (3) :801-806, 2011	HIV感染症の現状と最新治療	福武 勝幸	臨床検査医学科
145	日本総合健診医学会志 38 (3) :349-356, 2011	外部精度管理と総合健診の信頼性	福武 勝幸	臨床検査医学科
146	血栓止血誌 22 (5) :295-322, 2011	日本血栓止血学会 後天性血友病A診療ガイドライン	田中 一郎*	臨床検査医学科
147	日本総合健診医学会志 38 (6) :753-756, 2011	HIV-1感染症と性感染症 -健診とセクシュアルヘルス-	山元 泰之	臨床検査医学科
148	血栓止血誌 22 (5) :259-265, 2011	東日本大震災で被災された血友病患者への支援	田中 一郎*	臨床検査医学科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
149	血栓止血誌 22(5):270-274, 2011	東日本大震災の医療活動報告 -被災地診療 を経験して-	近澤 悠志	臨床検査医学科
150	東医大誌 69(2):276-284, 2011	血友病性膝関節症に対する人工関節置換術術 後管理の検討会	穴戸 孝明	臨床検査医学科
151	European Psychiatry 26 Special Issue 2, 79-83, 2011	Unsolved problems concerning somatoform disorders and post traumatic disorders	Maruta T	メンタルヘルス科
152	European Psychiatry 26 Special Issue 2, 20-24, 2011	The ICD-10 in the diagnosis and classification of mental disorders in Japan and other Asian countries	Maruta T	メンタルヘルス科
153	European Psychiatry 26 Special issue 2, 2011	Progress in Diagnosis and Classification-Perspectives of the ICD- 11	limori M	メンタルヘルス科
154	The Tohoku journal of experimental medicine, 224(2): 127-136, 2011	Short Sleep Duration and Irregular Bedtime Are Associated with Increased Behavioral Problems among Japanese Preschool-Age Children	Komada Y	メンタルヘルス科
155	Sleep Medicine, 12(7): 680-684, 2011	Relation between morningness-eveningness score and depressive symptoms among patients with delayed sleep phase syndrome	Abe T	メンタルヘルス科
156	Sleep and biological rhythms, 9(3): 134-143, 2011	Questionnaire-based evidence of association between sleepiness while driving and motor vehicle crashes that are subjectively not caused by falling asleep.	Abe T	メンタルヘルス科
157	Sleep Medicine, 12(9): 821-826, 2011	Prospective survey on the natural course of restless legs syndrome over two years in a closed cohort	Kagimura T	メンタルヘルス科
158	International journal of psychophysiology, 82(3): 269-274, 2011	Detecting deteriorated vigilance using percentage of eyelid closure time during behavioral maintenance of wakefulness tests	Abe T	メンタルヘルス科
159	Sleep Medicine, 12(10): 1031-1033, 2011	Prevalence and clinical characteristics of restless legs syndrome in chronic kidney disease patients	Aritake-Okada S	メンタルヘルス科
160	Sleep Medicine, 13(1): 107-110, 2012	Relationship between napping pattern and nocturnal sleep among Japanese nursery school children	Komada Y	メンタルヘルス科
161	Sleep and biological rhythms, 10(1): 72-74, 2012	Effect of post-learning sleep versus wakefulness on advantageous decision- making: A preliminary study	Abe T	メンタルヘルス科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
162	Journal of neurology, 258 (11) : 1971-1978, 2011	Clinical significance of periodic leg movements during sleep in rapid eye movement sleep behavior disorder	Sasai T	メンタルヘルス科
163	Progress in neuro-psychopharmacology & biological psychiatry, 36 (2) : 251-257, 2012	Long-term open-label study of pramipexole in patients with primary restless legs syndrome.	Inoue Y	メンタルヘルス科
164	Sleep Medicine, 13 (2) : 156-160, 2012	Effects of nasal continuous positive airway pressure on panic disorder comorbid with obstructive sleep apnea syndrome	Takaesu Y	メンタルヘルス科
165	The Tohoku journal of experimental medicine, 226 (3) : 177-181, 2012	Effectiveness of pramipexole on rapid eye movement sleep behavior disorder	Sasai T	メンタルヘルス科
166	Journal of oral rehabilitation, 39 (2) : 111-117, 2012	Difference in dental arch size between obese and non-obese patients with obstructive sleep apnoea	Maeda K	メンタルヘルス科
167	Sleep Medicine, 13 (3) : 301-306, 2012	Impaired decision-making in idiopathic REM sleep behavior disorder	Sasai T	メンタルヘルス科
168	The Journal of clinical psychiatry, 73 (3) : 377-383, 2012	Insomnia as a risk for depression: a longitudinal epidemiologic study on a Japanese rural cohort	Okajima I	メンタルヘルス科
169	Emerg Infect Dis. 17 (11) :1993-2000, 2011	Deaths Associated with Pandemic (H1N1) 2009 among Children, Japan, 2009-2010	Okumura A*	小児科
170	PLoS One. 24;6 (2) e16408, 2011	Clinical impact of down-regulated plasma miR-92a levels in non-Hodgkin's lymphoma	Ohyashiki K*	小児科
171	J Infect Chemother 17 (2) :254-63, 2011	Surveillance Committee for Severe RSV Infection. Nationwide survey of severe respiratory syncytial virus infection in children who do not meet indications for palivizumab in Japan	Mori M*	小児科
172	Eur J Clin Microbiol Infect Dis 30 (1) :117-20, 2011	Cytokine and chemokine response in children with the 2009 pandemic influenza A (H1N1) virus infection	Takano T*	小児科
173	Brain Dev 33 (6) :512-7. 2011	Carnitine palmitoyl transferase II polymorphism is associated with multiple syndromes of acute encephalopathy with various infectious diseases	Shinohara M*	小児科
174	J Infect Chemother 17 (6) :776-81, 2011	Classification of acute encephalopathy in respiratory syncytial virus infection	Morichi S	小児科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
175	Rheumatology 50(11): 2142-2144, 2011	Clinical analysis of anti-NR2 glutamate receptor antibodies and interleukin-6 with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus	Sato S	小児科
176	Lung Cancer 72(3): 355-359, 2011	Klotho is a novel biomarker for good survival in resected large cell neuroendocrine carcinoma of the lung	Usuda J.	呼吸器外科・甲状腺外科
177	J Clin Oncol 28(36): 5240-5246, 2010	Phase III trial comparing oral S-1 plus carboplatin with paclitaxel plus carboplatin in chemotherapy-naive patients with advanced non-small-cell lung cancer: results of a West Japan Oncology Group Study	Okamoto I*.	呼吸器外科・甲状腺外科
178	J Proteomics 74(6): 759-764, 2011	Developments for a growing Japanese patient population: Facilitating new technologies for future health care	Kato H.	呼吸器外科・甲状腺外科
179	日本呼吸器外科学会 雑誌 25(4): 352- 355, 2011	縦隔腫瘍に対する高齢者(75歳以上)手術の検討	林 博樹	呼吸器外科・甲状腺外科
180	日本気管食道科学会 会報 62(3): 368- 369, 2011	用語解説 自家蛍光気管支鏡 (Autofluorescence Bronchoscopy) (解説)	本多 英俊	呼吸器外科・甲状腺外科
181	Chemotherapy 57(4): 357-362, 2011	Randomized phase II study of two schedules of carboplatin and gemcitabine for stage IIIB and IV advanced non-small cell lung cancer (JACCRO LC-01 Study)	Imamura F*.	呼吸器外科・甲状腺外科
182	J Clin Bioinforma 1(1): 23, 2011	Preferential expression of potential markers for cancer stem cells in large cell neuroendocrine carcinoma of the lung. An FFPE proteomic study	Nomura M.	呼吸器外科・甲状腺外科
183	Ann Thorac Cardiovasc Surg 17(5): 446-453, 2011	Training in robotic surgery using the da Vinci(®) surgical system for left pneumonectomy and lymph node dissection in an animal model	Kajiwara N.	呼吸器外科・甲状腺外科
184	Lung Cancer 73(2): 217-221, 2011	Alveolar space filling ratio as a favorable prognostic factor in small peripheral squamous cell carcinoma of the lung	Watanabe Y*.	呼吸器外科・甲状腺外科
185	Gen Thorac Cardiovasc Surg 59(10): 693-698, 2011	Early experience using the da Vinci Surgical System for the treatment of mediastinal tumors	Kajiwara N.	呼吸器外科・甲状腺外科
186	J Thorac Oncol 6(11): 1865-1871, 2011	Prognostic impact of number of resected and involved lymph nodes at complete resection on survival in non-small cell lung cancer.	Saji H.	呼吸器外科・甲状腺外科
187	J Thorac Oncol 6(11): 1889-1894, 2011	Serum heparan sulfate concentration is correlated with the failure of epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitor treatment in patients with lung adenocarcinoma	Nishio M*.	呼吸器外科・甲状腺外科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
188	Lung Cancer 74 (2) : 332-337, 2011	Klotho predicts good clinical outcome in patients with limited-disease small cell lung cancer who received surgery	Usuda J.	呼吸器外科・甲状腺外科
189	Lasers in Surgery and Medicine 43 (7) : 591-599, 2011	Molecular determinants of photodynamic therapy for lung cancer	Usuda J.	呼吸器外科・甲状腺外科
190	Lasers in Surgery and Medicine 43 (7) : 749-754, 2011	New aspects of photodynamic therapy for central type early stage lung cancer	Ikeda N.	呼吸器外科・甲状腺外科
191	Pathology International 61 (8) : 475-480, 2011	Papillary adenoma of the lung with a peculiar raw macroscopic feature	Nakano T*.	呼吸器外科・甲状腺外科
192	Expert Rev Mol Diagn 10 (6) : 799-815, 2011	Early detection and screening of lung cancer	Mascaux C*.	呼吸器外科・甲状腺外科
193	Clin Cancer Res 17 (24) : 7796-807, 2011	EGFR protein expression in non-small cell lung cancer predicts response to an EGFR tyrosine kinase inhibitor - a novel antibody for immunohistochemistry or AQUA technology.	Mascaux C*.	呼吸器外科・甲状腺外科
194	Experimental and Therapeutic Medicine Published online on: Friday, October 7: 53-59, 2011	A population-based study of gefitinib in patients with postoperative recurrent non-small cell lung cancer	Furukawa K.	呼吸器外科・甲状腺外科
195	Journal of Thoracic Disease 3 (4) : 221-230, 2011	Interventional management for benign airway tumors in relation to location, size, character and morphology	Kajiwara N.	呼吸器外科・甲状腺外科
196	気管支学 33 (6) : 411-420, 2011	日本呼吸器内視鏡学会・日本臨床細胞学会・日本肺癌学会・3学会合同委員会報告：肺門部早期肺癌実態調査アンケート報告	古川 欣也	呼吸器外科・甲状腺外科
197	気管支学 33 (6) : 508-509, 2011	施設紹介・東京医科大学茨城医療センター呼吸器センター	古川 欣也	呼吸器外科・甲状腺外科
198	肺癌 25 (4) : 110-114, 2011	左B1+2分岐異常領域に発生した肺癌の1切除例	月岡 卓馬*	呼吸器外科・甲状腺外科
199	British Journal of Cancer 105 (9) : 1267-1272, 2011	Randomised, phase III trial of epoetin-b to treat chemotherapy-induced anaemia according to the EU regulation	Fujisaka Y*.	呼吸器外科・甲状腺外科
200	Ann Thorac Surg 92 (2) : 449-453, 2011	Is there a role for pulmonary metastasectomy with a curative intent in patients with metastatic urinary transitional cell carcinoma?	Matsuguma H*.	呼吸器外科・甲状腺外科
201	日呼外会誌 25 (4) : 388-391, 2011	乳癌術後30年目に出現した孤立性肺転移の1切除例	岩瀬 裕	呼吸器外科・甲状腺外科

小計  
14件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
202	J Thorac Oncol 6 (4) : 751-756, 2011	A prospective radiological study of thin-section computed tomography to predict pathological noninvasiveness in peripheral clinical IA lung cancer (Japan Clinical Oncology Group 0201)	Suzuki K*	呼吸器外科・甲状腺外科
203	Jpn J Cancer Chemother 38 (12) : 2188-2190, 2011	再発後急速増悪にて気管内EMSステントを留置した甲状腺癌の一例	奥石 晴也	呼吸器外科・甲状腺外科
204	肺癌 51 (7) : 777- 786, 2011	日本肺癌学会・日本呼吸器内視鏡学会・日本臨床細胞学会・3学会合同委員会報告：肺門部早期肺癌実態調査アンケート報告	佐藤 雅美*	呼吸器外科・甲状腺外科
205	Eur J Radiol 81 (1) : 189-194, 2012	Comparison of thin-section CT and pathological findings in small solid-density type pulmonary adenocarcinoma: Prognostic factors from CT findings	Ikehara M*	呼吸器外科・甲状腺外科
206	Lung Cancer 75 (3) : 368-73, 2012	Clinical features of unresectable high-grade lung neuroendocrine carcinoma diagnosed using biopsy specimens	Shimada Y	呼吸器外科・甲状腺外科
207	Respirology 17 (2) : 261-269, 2012	Frontiers in Bronchoscopic Imaging	Ohtani K	呼吸器外科・甲状腺外科
208	Eur Respir J 9 (2) : 478-486, 2012	Surgical implications of the new IASLC/ATS /ERS adenocarcinoma classification	Van Schil PE*	呼吸器外科・甲状腺外科
209	日本呼吸器外科学会 雑誌 26 (1) : 41-45, 2012	両側頸部腫脹、縦隔リンパ節腫大が発見のきっかけになったミクリツ病の一例	木村 雅一	呼吸器外科・甲状腺外科
210	日本臨床細胞学会雑誌 51 (1) : 13-21, 2012	日本臨床細胞学会・日本肺癌学会・日本呼吸器内視鏡学会・3学会合同委員会報告：肺門部早期肺癌実態調査アンケート報告	馬場 雅行*	呼吸器外科・甲状腺外科
211	気管支学 34 (2) : 109-112, 2012	進行肺癌に対する気管支ステント留置術後3カ月以内死亡症例の検討	林 博樹	呼吸器外科・甲状腺外科
212	Ann Thorac Surg. 2011 Nov;92 (5) :1646- 9;discussion 1949- 1950. 2011	Midterm outcome of valve-sparing aortic root replacement in inherited connective tissue disorders	Tanaka H*	心臓血管外科
213	Ann Thorac Surg. 2011 Aug;92 (2) : 722-3	Type A aortic dissection with cold agglutinin disease.	Osada H*	心臓血管外科
214	J Thorac Cardiovasc Surg. 2012 May;143 (5) :1007- 13. 2011	Less invasive surgical treatment for aortic arch aneurysms in high-risk patients:a comparative study of hybrid thoracic endovascular aortic repair and conventional total arch replacement.	Murashita T. *	心臓血管外科

小計  
13件

## 論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
215	J Thorac Cardiovasc Surg. 2011 Nov;142 (5) :1274-5. 2011 Apr.	Reoperation for prosthesis dehiscence caused by aortitis.	Tanaka H*	心臓血管外科
216	Surg Today. 2011 Apr;41 (4) :500-9. 2011	Mid-to long term outcome of cardiovascular tissue replacement utilizing homografts harvested and stored at Japanese institutional tissue banks.	Kitamura S*	心臓血管外科
217	日本血管外科学会雑誌 20 (7) : 927-932, 2011	重症虚血肢に対する血管リハビリテーション	土田 博光	心臓血管外科
218	Ann Vasc Surg 2011;25:748-751.	Thoracic endovascular aortic repair with aortic arch vessel revascularization.	Iida Y.	心臓血管外科
219	臨床外科 66 (9) : 1178-1182, 2011	下大静脈閉塞と下肢のうっ血	進藤 俊哉	心臓血管外科
220	Heart View 15:418-23, 2011	13. [Expertise] - この症例をどうするか? 下腿動脈バイパス遠位側吻合部およびそれ以遠の新たな病変に対する治療 【特集】末梢動脈疾患 - インターベンションと外科治療の選択	駒井 宏好	心臓血管外科
221	Medical Practice 28:747-52, 2011	画像からすすめる心・血管疾患診療の実際 閉塞性動脈硬化症	駒井 宏好	心臓血管外科
222	Circ J 75: 2460-4, 2011	Diabetes and old age could affect long-term patency of paramalleolar distal bypass for peripheral arterial disease in Japanese population.	Komai H.	心臓血管外科
223	脈管学 (J Jpn Coll Angiol) 51:347-58, 2011	VascuQOL日本語版の信頼性と妥当性の検討	山口 拓洋*	心臓血管外科
224	Vascular Medicine 7:101-106, 2011	REACHにみられる世界の現状を知る	駒井 宏好	心臓血管外科
225	Circ J. 2011;75 (12) :2872-7. Epub 2011 Oct 15.	Major venous anomalies are frequently associated with horseshoe kidneys.	Ichikawa T*	心臓血管外科
226	日本外科学会雑誌 2011 Jul 第112巻 (1) :5-10	2. 人工血管置換術 a) 弓部大動脈瘤-特に最新術式と手術成績-	荻野 均	心臓血管外科
227	Retina31:1951-1957, 2011.	Increase of vitreous monocyte chemotactic protein 1 and interleukin 8 levels in patients with concurrent hypertension and diabetic retinopathy.	Wakabayashi Y	眼科
228	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 249:1485-1492, 2011.	Choroidal thickness measurement in healthy Japanese subjects by three-dimensional high-penetration optical coherence tomography.	Agawa T	眼科

小計  
14件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
229	Am J Ophthalmol 151:610-616, 2011.	Relation of intraocular concentrations of inflammatory factors and improvement of macular edema after vitrectomy in branch retinal vein occlusion.	Okunuki Y	眼科
230	J Biomed Biotechnol. 294046, 2011.	Analysis of the pathogenesis of experimental autoimmune optic neuritis.	Kezuka T	眼科
231	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 249:1485-1492, 2011.	Choroidal thickness measurement in healthy Japanese subjects by three-dimensional high-penetration optical coherence tomography.	Agawa T	眼科
232	Clin Ophthalmol. 5:1649-1653, 2011.	Biological activity is the likely origin of the intersection between the photoreceptor inner and outer segments of the rat retina as determined by optical coherence tomography.	Yamauchi Y	眼科
233	Functional analysis of CD40 and B7-H1. Exp Eye Res. 96:98-106, 2012.	Costimulatory molecule expression on human uveal melanoma cells.	Usui Y	眼科
234	J Neuroophthalmol. 32:107-110, 2012.	Relationship Between NMO-Antibody and Anti-MOG Antibody in Optic Neuritis.	Kezuka T	眼科
235	Ophthalmic Surg Lasers Imaging 43:e5-9, 2012.	High-penetration optical coherence tomography with enhanced depth imaging of polypoidal choroidal vasculopathy.	Nagase S	眼科
236	臨眼 66:443-448, 2012.	近赤外ハイパースペクトルイメージング装置を用いたポリープ状脈絡膜血管症の画像化.	村松大武	眼科
237	臨眼 66:545-551, 2012.	ステロイド大量療法に抵抗した視神経炎に対する血漿交換療法.	松田隆作	眼科
238	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012. Apr 21. [Epub ahead of print]	Correlation of complement fragment C5a with inflammatory cytokines in the vitreous of patients with proliferative diabetic retinopathy.	Muramatsu D	眼科
239	日眼会誌 116:394-426, 2012.	Behcet病（ベーチェット病）眼病変診療ガイドライン	飛鳥田有里	眼科
240	Arch Ophthalmol. 130:592-598, 2012.	Multicenter Study of Infliximab for Refractory Uveoretinitis in Behcet Disease.	Okada A	眼科
241	Invest Ophthalmol Vis Sci. 53:5395-402, 2012.	Immune mediators in vitreous fluids from patients with vitreoretinal B cell lymphoma.	Usui Y	眼科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
242	Invest Ophthalmol Vis Sci. 53:5475-5485, 2012.	Suppression of Murine Experimental Autoimmune Optic Neuritis by Mature Dendritic Cells Transfected with Calcitonin Gene-Related Peptide Gene.	Matsuda R	眼科
243	Jpn J Ophthalmol 56:383-389, 2012.	Clinical features and diagnostic significance of the intraocular fluid of 217 patients with intraocular lymphoma.	Kimura K	眼科
244	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012 Aug 16. [Epub ahead of print]	Intraocular VEGF level as a risk factor for postoperative complications after vitrectomy for proliferative diabetic retinopathy.	Wakabayashi Y	眼科
245	患者安全推進ジャーナル 26: 49-57, 2011	プロジェクトX 本邦初のCVラインセンター設置への挑戦—東京医科大学病院CVライン事故から学んだ医療安全—	三木 保	脳神経外科
246	Journal of Neurosurgery 115 (6) : 1147-1157, 2011	Nationwide investigation of the current status of therapeutic neuroendoscopy for ventricular and paraventricular tumors in Japan	Hayashi N	脳神経外科
247	CI研究 32 (3・4) : 165-171, 2010	成人小脳悪性グリオーマの臨床像と画像—特に短期間の悪性転化を示唆する所見について—	秋元 治朗	脳神経外科
248	Atherosclerosis 215 (2) : 392-398, 2011	Differential expression of oxidized/native lipoprotein (a) and plasminogen in human carotid and cerebral artery plaques	Umahara T	脳神経外科
249	東医大誌 69 (3) : 349-360, 2011	頸動脈病変の超音波診断における3D超音波法の有用性	赤井 知高	脳神経外科
250	東医大誌 69 (3) : 407-419, 2011	硝子体手術後に網膜中心動脈閉塞症を来とし、その後高度な頸動脈および冠動脈閉塞が判明した例	若林 美宏	脳神経外科
251	東医大誌 69 (4) : 503-504, 2011	急性錯乱と起立困難を契機に診断された広範囲な白質障害を伴う高齢者髄膜腫剖検例	馬原 孝彦	脳神経外科
252	日本レーザー医学会誌 32: 44-52, 2011	脳神経外科疾患を対象としてレーザー治療の安全ガイドライン	金子 貞男	脳神経外科
253	Molecular and Cellular Endocrinology 331: 73-78, 2011	Co-expression of somatostatin receptor subtypes and estrogen receptor- $\alpha$ mRNAs by non-functioning pituitary adenomas in young patients	Nishioka H	脳神経外科
254	J Neurotrauma 28: 143-153, 2011	Cyclophilin D - sensitive mitochondrial permeability transition in adult human brain and liver mitochondria	Hansson MJ	脳神経外科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
255	J Neurosurg 114: 1386-1389, 2011	En bloc temporal bone resection using a diamond threadwire saw for malignant tumors	Jimbo H	脳神経外科
256	Neurosurg Q 21: 189-193, 2011	Refractory chronic subdural hematoma	Hazra AK	脳神経外科
257	Clinical Gastroenterology and Hepatology 9: e78-79, 2011	Ruptured aneurysm of the splenic artery in a 90-years old man with syncope	Turukiri J	脳神経外科
258	Clinical Gastroenterology and Hepatology 9: e106-107, 2011	Early multiple intrahepatic artery pseudoaneurysm formation after liver trauma	Turukiri J	脳神経外科
259	Clinical Gastroenterology and Hepatology Epub ahead of print, 2011	Bleeding at the hepatic flexure of the colon secondary to diverticulosis	Tsurukiri J	脳神経外科
260	Urology Epub ahead of print 1 78 (6) : 1306, 2011	Bilateral traumatic testicular dislocation	Tsurukiri J	脳神経外科
261	総合臨床 60: 1943-1944, 2011	クモ膜下出血後の脳血管攣縮	神保 洋之	脳神経外科
262	救急・集中治療 23(7・8): 1080-1087, 総合医学社, 2011	神経保護Q&A-神経救急・集中治療的アプローチの実際- 神経救急・集中治療における神経症候、各種診断法と脳機能モニタリング Q13 急性期意識障害の評価	弦切 純也	脳神経外科
263	救急・集中治療 23(7・8): 1088-1094, 総合医学社, 2011	神経保護Q&A-神経救急・集中治療的アプローチの実際- 神経救急・集中治療における神経症候、各種診断法と脳機能モニタリング Q14 神経救急・集中治療における画像診断	神保 洋之	脳神経外科
264	救急・集中治療 23(7・8): 1101-1105, 総合医学社, 2011	神経保護Q&A-神経救急・集中治療的アプローチの実際- 神経救急・集中治療における神経症候、各種診断法と脳機能モニタリング Q16 頭蓋内圧モニタリング	市川 恵	脳神経外科
265	救急・集中治療 23(7・8): 1179-1184, 総合医学社, 2011	神経保護Q&A-神経救急・集中治療的アプローチの実際- 神経救急・集中治療における各種病態管理とリハビリテーション Q28 急性期脳梗塞の管理	大塚 邦紀	脳神経外科
266	ScienceMED 2:51-54, 2011	Type3 thyroplasty for patients with mutational dysphonia	Nakamura K.	耳鼻咽喉科
267	Otolaryngol Head Neck Surg 144:280-283, 2011	Peripheral vestibular system in Down syndrome: quantitative assessment of vestibular histopathology	Inagaki T.	耳鼻咽喉科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
268	Acta Otolaryngol 131: 263-268, 2011	Blockage of longitudinal flow in Meniere's disease: A human temporal bone study	Shimizu S.	耳鼻咽喉科
269	Eur Arch Otorhinolaryngol [Epub ahead of print]	Detection of passive movement of the arytenoid cartilage in unilateral vocal-fold paralysis by laryngoscopic observation: Useful diagnostic findings	Okamoto I.	耳鼻咽喉科
270	Int J Pediatr Otorhinolaryngol 75: 211-214, 2011	Prevalence of GJB2 causing recessive profound non-syndromic deafness in Japanese children	Hayashi C*.	耳鼻咽喉科
271	Auris Nasus Larynx : 38:444-449, 2011	The clinical features of patients with the homozygous 235delC and the compound-heterozygous Y136X/G45E of the GJB2 mutations (Connexin 26) in cochlear implant recipients	Yoshikawa S*.	耳鼻咽喉科
272	口腔咽喉頭科 24 : 81-86, 2011	シンポジウム 口腔癌の超選択的動注化学放射線療法の実際 : 口腔の超選択的大量CDDP動注化学放射線療法の実際	吉田 知之	耳鼻咽喉科
273	耳鼻と臨床 57:216-222, 2011	下咽頭癌に対する救済手術	伊藤 博之	耳鼻咽喉科
274	日気食会報 62 : 511-516, 2011	変声障害に対する甲状軟骨形成術3型	中村 一博	耳鼻咽喉科
275	喉頭 23 : 92-96, 2011	痙攣性発声障害に対する手術	中村 一博	耳鼻咽喉科
276	日気食会報 62:1-10, 2011	披裂軟骨内転術および甲状軟骨形成術の合併症の検討	中村 一博	耳鼻咽喉科
277	日気食会報 62 : 198-204, 2011	声帯麻痺に対する治療の最前線・甲状軟骨形成術1型の適応	中村 一博	耳鼻咽喉科
278	Audiology Japan 54: 95-101, 2011	入院加療を行ったGrade3以上の突発性難聴の検討	河口 幸江	耳鼻咽喉科
279	日気食会報 62 : 384-392, 2011	当科における下咽頭癌の臨床的検討	近藤 貴仁	耳鼻咽喉科
280	日耳鼻 114 : 491-497, 2011	音声障害の治療に関する最近の知見	渡嘉敷亮二	耳鼻咽喉科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
281	医学と薬学 65 : 75-82, 2011	スギ花粉症初期療法の有効性と抗ロイコトリエン薬の有用性-茨城県におけるアンケート調査から-	新井 雅之	耳鼻咽喉科
282	Equilibrium Res 70 : 230-237, 2011	メニエール病9例の治療にハーブティーを用いた使用経験	北島 尚治	耳鼻咽喉科
283	耳鼻臨床 104 : 379-386, 2011	小児頸部膿瘍の臨床的検討	古瀬 寛子	耳鼻咽喉科
284	Equilibrium Res 71:23-32, 2012	人工内耳手術後の前庭機能とめまい症状の変化.	古瀬 寛子	耳鼻咽喉科
285	整形外科 62 (5) : 428, 2011	光治療と生体反応研究の進歩	朝貝 芳美	整形外科
286	東日本整形災害外科学会雑誌 23 (2) : 208-218, 2011	踵骨関節内骨折における治療成績の検討	反町 武史	整形外科
287	Journal of Spine Research 2 (6) : 1103-1106, 2011	すべりを伴った腰部脊柱管狭窄症の脊椎矢状alignmentと椎間関節角	遠藤 健司	整形外科
288	Journal of Spine Research 2 (6) : 1107-1109, 2011	高齢者腰部脊柱管狭窄症患者の脊椎矢状面alignment	鈴木 秀和	整形外科
289	運動療法と物理療法 22 (1) : 33-35, 2011	立位、坐位における腰椎骨盤矢状面アライメントの性差	遠藤 健司	整形外科
290	West Indian Med J. 60 (3) : 263-8, 2011	Possible molecular mechanism of promotion of repair of acute Achilles tendon rupture by low intensity-pulsed ultrasound treatment in a rat model.	Kosaka T.	整形外科
291	West Indian Med J. 60 (3) : 303-7, 2011	Therapeutic results of the modified Cadenat procedure for acromioclavicular joint separations compared with the modified Dewar procedure.	Takase K.	整形外科
292	日本関節病学会誌 30 (2) : 159-164, 2011	人工膝関節全置換術における大腿骨Componentの設置とPatellar Trackingの評価	佐藤 由佳	整形外科
293	日本関節病学会誌 30 (2) : 131-139, 2011	セメントレスTHAのポリエチレン摩耗に影響する因子およびOsteolysisの検討	高橋 翼	整形外科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
294	Journal of Infection and Chemotherapy 17 (1) : 105-107, 2011	Chapter 2-8. Anaerobic infections (individual fields): infections in the field of orthopedics (primarily bone and joint infections)	Masaoka T.	整形外科
295	West Indian Med J 60 (1) : 82-85, 2011	Long-term Results after Treatment of Humeral Meck Fractures using Modified Hackethal Bundle Nailing	Kosaka T.	整形外科
296	肩関節 35 (2) : 379-381, 2011	初回発症が40歳以上の反復性肩関節前方脱臼の病態	高瀬 勝己	整形外科
297	肩関節 35 (2) : 329-332, 2011	肩鎖関節脱臼に対する解剖学的烏口鎖骨靭帯再建術式の方法および術後成績	高瀬 勝己	整形外科
298	関東整形災害外科学会雑誌 42 (4) : 225-229, 2011	硬膜背側脱出型上位腰椎椎間板ヘルニアの1例	山本 晶也	整形外科
299	Hip Joint 37: 559-562, 2011	関節リウマチ患者に対する人工股関節全置換術の成績	三部 順也	整形外科
300	日本小児整形外科学会雑誌 20 (2) : 393-397, 2011	痙直型脳性麻痺児股関節脱臼・亜脱臼に対する下肢筋解離手術の中・長期成績	朝貝 芳美	整形外科
301	日本手外科学会雑誌 28 (2) : 90-93, 2011	関節リウマチ以外に起因する腱皮下断裂の治療経験	高瀬 勝己	整形外科
302	日本肘関節学会雑誌 18 (2) : 64-66, 2011	上腕骨外側顆炎に対しSuture Anchorを用いて施行したNirschl法の小経験	高瀬 勝己	整形外科
303	Orthopedics 34 (12) : E871-6, 2011	Modular megaprosthesis in metastatic bone disease of the femur.	Hattori H.	整形外科
304	West Indian Medical Journal 60 (6) : 628, 2011	Long-term Effects of chronic Achilles tendon rupture treatment using reconstruction with peroneus brevis transfer (PBT) on sports Activities Based on an approximate 10-year follow-up study	Kosaka T.	整形外科
305	J PediatrOrthop B. 20 (5) : 345-8, 2011	Irreducible dislocation of the radial head with undisplaced olecranon fracture in a child: a case report.	Takase K	整形外科
306	Orthopedics 34 (8) : e432-5, 2011	Osteoid osteoma of the great toe.	Hattori H	整形外科

小計  
13件

## 論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
307	Arch Orthop Trauma Surg. 132 (3) : 399-403, 2012.	Arthroscopic stabilization for Neer type 2 fracture of the distal clavicle fracture.	Takase K	整形外科
308	日本関節病学会誌31 (1) : 41-47, 2012	初回TKAでの脛骨側骨欠損例に対する対処法の検討	立岩俊之	整形外科
309	臨床整形外科 47 (3) : 235-239, 2012	立位・座位・仰臥位における腰椎・骨盤矢状面アライメント	遠藤健司	整形外科
310	JOSKAS 37 (1) : 22-23, 2012	肩関節前方不安定症における反復亜脱臼群と反復脱臼群の鏡視所見の比較検討	高瀬勝己	整形外科
311	Journal of Surgical Case Reports. 2011;7:5.	A strange case of ingrown toenail treated with phenol.	Sugamata A.	形成外科
312	Journal of Surgical Case Reports. 2011;10:6.	A case of complete spontaneous regression of extremely advanced Merkel cell carcinoma.	Sugamata A.	形成外科
313	Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery. 2011;45:204-07.	Correction of pincer nail deformity with phenol.	Sugamata A.	形成外科
314	Plastic Surgery International. 2011;1D421245.	Open reduction of subcondylar fractures using a new retractor.	Sugamata A.	形成外科
315	International Medical Case Reports Journal. 2011;4:57-91.	Relaxation incision of venomous snake "Japanese mamushi" bites to the hand.	Sugamata A.	形成外科
316	日本形成外科学会誌. 2011;31 (7) : 493-98.	急速に進行した破壊型基底細胞癌の2例.	今井龍太郎	形成外科
317	熱傷. 2011;37 (3) : 164-69.	悪性リンパ腫の診断に難渋した左下肢熱傷の1例.	坂本奈津紀	形成外科
318	日本医療・病院管理学会誌. 2011;48 (supplement) : 169.	計画停電時におけるBCP (事業継続計画) - 電力量の把握に基づいた対策の立案 -.	大原達美	形成外科
319	医療情報学. 2011;30 (4) : 233-40.	BCPマニュアルの見直し-部門システムを含めたBCP策定の必要性 -.	大原達美	形成外科

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
320	日本マイクロサー ジャー学会誌 2011;24(1):52-58.	遊離皮弁術後にヘパリン起因性血小板減少 症 (heparin-induced thrombocytopenia : HIT) による内頸静脈と外頸静脈の完全閉塞 を生じた1例.	小野紗耶香	形成外科
321	医学のあゆみ. 2011;237(1):151- 54.	【創傷治療の最前線】 新しい治療法 新し いデブリードマン技術:Hydrosurgery- VERSAJETHydrosurgerySystemによるデブリー ドマンの有効性.	松村一	形成外科
322	Medical Tribune. 2011;44(33):11.	第37回日本熱傷学会記事 熱傷患者のリハビ リ 社会復帰をチームで支援.	松村一	形成外科
323	瘢痕・ケロイド ジャーナル. 2011;5:26-28.	肥厚性瘢痕動物モデルにおける肥厚性瘢痕キ マーゼ活性.	松村一	形成外科
324	形成外科. 2012;55(3):247-53.	創傷被覆材-最新の動向と使用法のコツ 新 鮮創に対する創傷被覆材.	松村一	形成外科
325	熱傷. 37巻4号 Page216- 217(2011. 11)	社会復帰に向けた熱傷患者のリハビリテー ション 重度熱傷患者における社会・職場復 帰のためのプランニング	松村一	形成外科
326	東京医科大学雑誌. 2011;69(3):392-93.	東京医科大学における移植医療の座標軸とそ の方向(解説)	松村一	形成外科
327	J Am Acad Dermatol 65: 61-63, 2011	Removal of facial and labial lentigines in dyschromatosis universalis hereditaria with a Q-switched alexandrite laser.	Nogita T	皮膚科
328	J Dermatol 38: 680- 684, 2011	Polymorphic CAG repeat numbers in the androgen receptor gene of female pattern hair loss patients.	Yamazaki M	皮膚科
329	J Dermatol 38: 773- 777, 2011	Oral finasteride improved the quality of life of androgenetic alopecia patients.	Yamazaki M	皮膚科
330	J Dermatol 38: 465- 472, 2011	Low-dose, short-term ciclosporin (NeoralR) therapy is effective in improving patients' quality of life as assessed by Skindex-16 and GHQ-28 in mild to severe psoriasis patients.	Okubo Y	皮膚科
331	J Dermatol Sci 61: 110-117, 2011	Quantification of activated and total caspase-14 with newly developed ELISA systems in normal and atopic skin.	Yamamoto M	皮膚科

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
332	J Biol Chem 286: 8204-8212, 2011	Bleomycin hydrolase is regulated biphasically in a differentiation- and cytokine-dependent manner : relevance to atopic dermatitis.	Yamamoto M	皮膚科
333	日皮会誌 121: 161-165, 2011.	過去3年間に東京医科大学病院で経験したHIV合併梅毒75例統計学的検討	川口 敦子	皮膚科
334	日皮会誌 121: 1875-1879, 2011	過去5年間に東京医科大学病院皮膚科で感染症スクリーニング検査として実施したHIV検査の陽性率に関する報告	藤城 幹山	皮膚科
335	日皮会誌 121: 2065-2072, 2011	原発性瘢痕性脱毛症65例の検討	保母 彩子	皮膚科
336	東医大誌 69: 69-78, 2011	Ultraviolet-Bを照射したASK1, ASK2ノックアウトマウス皮膚の反応性の解析	水上 潤哉	皮膚科
337	J Oral Maxillofac Surg. 2012 Feb 22. [Epub ahead of print]	Ultrasound-Guided Intralesional Photocoagulation of Intramuscular Vascular Malformation in the Masseter Muscle.	Abukawa H	歯科口腔外科・矯正歯科
338	Arthritis Rheum. 2012 Jan;64(1):198-203.	Lack of a chondroprotective effect of cyclooxygenase 2 inhibition in a surgically induced model of osteoarthritis in mice.	Fukai A	歯科口腔外科・矯正歯科
339	Int J Oral Maxillofac Surg. 2011 Sep;40(9):955-60. Epub 2011 May 13.	A novel method for designing and fabricating custom-made artificial bones.	Saijo H	歯科口腔外科・矯正歯科
340	Obesity Research & Clinical Practice. Oct-Dec; 5(4): e279-286, 2011	Reduced masticatory function in non-elderly obese Japanese adults.	Sayaka Katagiri	歯科口腔外科・矯正歯科
341	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery. Jun; 69(6): 1807-1814, 2011.	Mandibular reconstruction using a tray with particulate cancellous bone and marrow and platelet rich plasma by an intraoral approach.	Akira Matsuo	歯科口腔外科・矯正歯科
342	Sleep and Breathing. Sep; 15(3): 487-492, 2011.	Changes in cerebral hemoglobin indices in obstructive sleep apnea syndrome with nasal continuous positive airway pressure treatment.	Akira Matsuo	歯科口腔外科・矯正歯科
343	J Oral Maxillofac Res. Oct-Dec; 2(4): 1-8, 2011.	Preventive effect of rebamipide gargle on chemoradiotherapy-induced oral mucositis in patients with oral cancer: a pilot study.	Takashi Yasuda	歯科口腔外科・矯正歯科

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
344	日本先進インプラント医療学会誌2: 76-77, 2011.	HIV感染者に対するインプラント治療の2例.	伊能智明	歯科口腔外科・矯正歯科
345	小児口腔外科21(1): 25-32, 2011	小帯切除術-特に舌小帯と上唇小帯について.	金子忠良	歯科口腔外科・矯正歯科
346	日本歯科医療福祉学会雑誌 16(1): 6-9, 2011.	学生のクラブ活動における社会施設の関わり—第1報 活動報告について—.	水谷博幸	歯科口腔外科・矯正歯科
347	ペインクリニック 32(5): 761-763, 2011.	カプサイシン軟膏により改善した舌痛症の2症例.	青木美穂子	歯科口腔外科・矯正歯科
348	Int J Clin Oncol 16(7) Sep	Risk stratification of survival by lymphovascular invasion, pathological stage, and surgical margin in patients with bladder cancer treated with radical cystectomy	Gondo T	泌尿器科
349	The Journal of Urology Vol. 186 No. 4, 2011	Impact of Tumor Size on Renal Function and Prediction of Renal Insufficiency After Radical Nephrectomy in Patients With Renal Cell Carcinoma	Yoshio Ohno	泌尿器科
350	Int J Clin Oncol 2011 16:345-351	The efficacy and safety of gemcitabine plus cisplatin regimen for patients with advanced urothelial carcinoma after failure of M-VAC regimen	Tatsuo Gondo	泌尿器科
351	泌尿器外科24(6)、1015-1021, 2011	ロボット支援手術根治的膀胱全摘除術の経験	権藤 立男	泌尿器科
352	Clin Nucl Med 36(4): 296-299, 2011	Tumoricidal effect of Strontium-89	Yoshimura M	放射線科
353	Jpn Ophthalmol 55(2): 148-154, 2011	Diagnosis of uveal malignant melanoma by a new semiquantitative assessment of N-isopropyl-p- [123I] -Iodoamphetamine	Yoshimura M	放射線科
354	World J Gastroentero 17(30): 3503-3509, 2011	Diagnostic efficacy of gadoxetic acid-enhanced MRI for hepatocellular carcinoma and dysplastic nodule	Saito K	放射線科
355	Jpn J Radiol 29(8): 570-575, 2011	Selective intraarterial chemoradiation therapy for oropharyngeal carcinoma with high-dose cisplatin	Nishio R	放射線科

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
356	Int J Radiat Oncol Biol Phys 81 (4) : 979-984, 2011	Proton beam therapy of stage II and III non-small -cell lung cancer	Nakayama H	放射線科
357	Int J Radiat Oncol Biol Phys 80 (4) : 992-995, 2011	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma located adjacent to the alimentary tract	Nakayama H	放射線科
358	Intern Med 50 (6) : 539-544, 2011	Gastric mucosal damage evaluated by transnasal endoscopy and QOL assessments in ischemic heart disease patients receiving low-dose aspirin	Watanabe M	内視鏡センター
359	J Clin Biochem Nutr 49 (2) : 136-140, 2011	The role of trefoil factor family in apparently healthy subjects administrated gastroprotective agents for the primary prevention of gastrointestinal injuries from low-dose acetylsalicylic acid: a preliminary study	Kawai T	内視鏡センター
360	Progress in Medicine 31 (3) : 825-828, 2011	消化器疾患の病態生理：低用量アスピリンにおける上部消化管粘膜傷害の検討	羽山 弥毅	内視鏡センター
361	日本消化器がん検診学会雑誌 49 (6) : 1096-1104, 2011	経鼻・経口内視鏡発見別の早期胃がんの臨床病理学的検討	山下 直人*	内視鏡センター
362	Medical Practice 28 (2) : 291-295, 2011	新しい内視鏡検査 経鼻内視鏡	河合 隆	内視鏡センター
363	Helicobacter Research 15 (1) : 20-23, 2011	Helicobacter pylori除菌後GERDの実態：Helicobacter pylori除菌によるGERDの変化と内視鏡的胃炎—逆流性食道炎を中心に—	八木 健二	内視鏡センター
364	消化器内視鏡 23 (6) : 1018-1023, 2011	細径スコープを使いこなす-2011：[上部消化管：診断] 経口内視鏡も細径化によって変わったか	河合 隆	内視鏡センター
365	Medical Technology 39 (7) : 732-736, 2011	胃癌の「ABC検診」	河合 隆	内視鏡センター
366	消化器の臨床 14 (2) : 179-182, 2011	アスピリン 消化管におけるその功罪：消化管におけるアスピリンの副作用 低用量アスピリンと抗血栓薬の併用がもたらす影響とその対策	河合 隆	内視鏡センター
367	消化器内視鏡 23 (4) : 811-818, 2011	《こうすればできる》画像強調内視鏡による腫瘍診断：膵・胆道 癌の診断 膵胆道腫瘍性病変に対するNBI診断	糸井 隆夫	内視鏡センター

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
368	東京内科医会会誌 26(3): 184-187, 2011	上部消化管傷害におけるH. pylori感染と抗血小板療法 細径経鼻内視鏡を用いた検討から	河合 隆	内視鏡センター
369	Helicobacter Research 15(4): 313-317, 2011	Helicobacter year book 2010-2011— Helicobacterはここまで解明された—: Helicobacter研究の年間レビュー 診断法に 関する新知見をみる	河合 隆	内視鏡センター
370	SRL宝函 32(2): 46- 48, 2011	検査ONE POINT ABC検診について	河合 隆	内視鏡センター
371	消化器内視鏡 23(7): 1267-1273, 2011	低用量アスピリン時代の消化器内視鏡:[内 視鏡診断・治療における注意とリスク]低用 量アスピリン潰瘍に対する内視鏡止血の最前 線	片岡 幹統	内視鏡センター
372	消化器内視鏡 23(7): 1163-1169, 2011	低用量アスピリン時代の消化器内視鏡:アス ピリン潰瘍は特殊な潰瘍?	河合 隆	内視鏡センター
373	Helicobacter Research 15(5): 396-402, 2011	Helicobacter pylori感染とペプシノゲン: ペプシノゲンと萎縮性胃炎	河合 隆	内視鏡センター
374	消化器内視鏡 23(10): 1698-1705, 2011	胃びらん・発赤-どうすればわかる良性・悪 性:内視鏡モダリティ別での鑑別の要点 経 鼻内視鏡における白色光と画像強調観察	河合 隆	内視鏡センター
375	消化器内視鏡 23(11): 1849-1856, 2011	変わったぞ「消化管出血のマネジメント」: 上部消化管 どうする?出血性消化性潰瘍に 対する内視鏡止血のマネジメント	片岡 幹統	内視鏡センター
376	Helicobacter Research 15(6): 538-541, 2011	3疾患保険適用後のHelicobacter pylori感染 症診療の変化:保険適用外のHelicobacter pylori除菌療法の実際 認定医制度とピロリ 菌外来について	西澤 俊宏*	内視鏡センター
377	Dig Endosc 23 Suppl 1:162-163, 2011	Endoscopic ultrasonography-guided fine needle aspiration biopsy in a patient with prior Billroth II gastrectomy	Itoi T	内視鏡センター
378	J Clin Biochem Nutr 49(1):67, 2011	European physicians don't like cytoprotective agents?	Kawai T	内視鏡センター
379	Helicobacter Research 15(1): 77- 79, 2011	最新文献紹介:文献1 prescreening of a high-risk group for gastric cancer by serologically determined Helicobacter pylori infection and atrophic gastritis:文献2 predictive factors for metachronous gastric cancer in high-risk patients after successful helicobacter pylori eradication:総合コメント	河合 隆	内視鏡センター

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
380	Progress of Digestive Endoscopy 78(2): 24, 2011	第91回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集: パネルディスカッション司会者統括 経鼻内視鏡-スクリーニング検査での有用性及び応用法の現状 (ESD, イレウス管挿入, PEG, ERCPなど)	五十嵐良典*	内視鏡センター
381	Pharma Medica 29(7): 73-78, 2011	座談会: 防御因子増強薬の有効性を考える (第1回) H. pyloriおよびNSAIDsの両面から	竹内 孝治*	内視鏡センター
382	Pharma Medica 29(8): 81-86, 2011	座談会: 防御因子増強薬の有効性を考える (第2回) H. pyloriおよびNSAIDsの両面から	竹内 孝治*	内視鏡センター
383	Pharma Medica 29(11): 81-87, 2011	座談会: 上部消化管内視鏡検査up to date 安全、迅速、診断精度の向上をめざして(座談会)	上西 紀夫*	内視鏡センター
384	Helicobacter 17:36-42, 2011	Fluoroquinolone resistance in helicobacter pylori: Role of mutations at position 87 and 91 of GyrA on the level of resistance and identification of a resistance conferring mutation in GyrB	Rimbara E	内視鏡センター
385	THE GI FOREFRONT 6(2): 9, 92-93, 2011	研究会報告 第1回GI-Metabolism Forum: 低用量アスピリン内服患者における逆流性食道炎とQOL	河合 隆	内視鏡センター
386	日本救急医学会雑誌 22(4): 165-173, 2011	大学病院における院内救急体制と救急専従医の役割の検証	河井健太郎	救急医学
387	日本救急医学会雑誌 22(11): 837-844, 2011	臓器・組織提供におけるオプション提示クリニカルパスの作成と導入	東 彦弘	救急医学
388	日本化学療法学会雑誌 59(6): 597-604, 2011	硫酸アルベカシンの至適血中ピーク濃度を達成するための用量設定試験	木村 利美※	救急医学
389	東京都医師会雑誌 64(5): 49-54, 2011	標準化された内科救急初期診療~JMECC (Japanese Medical Emergency Care Course) から~	太田 祥一	救急医学
390	Urology 78(6): 1306, 2011	Bilateral traumatic testicular dislocation	Tsurukiri J.	救急医学
391	Clinical Gastroenterology and Hepatology 9(8): e78-e79, 2011	Ruptured aneurysm of the splenic artery in a 90-year-old man with syncope	Tsurukiri J.	救急医学

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
392	Clinical Gastroenterology and Hepatology 9 (10) : e106-e107, 2011	Early multiple intrahepatic artery pseudoaneurysm formation after liver trauma	Tsurukiri J.	救急医学
393	日本救急医学会雑誌 22 (5) : 224-228, 2011	軽度鈍的腎外傷（日本外傷学会腎損傷分類20081b型）による腎動静脈瘻の一例	上野 雅仁	救急医学
394	日本集団災害医学会雑誌 16 (1) : 91-95, 2011	多数傷病者受入れ時におけるトリアージ時の所要床面積に関する研究	江川 香奈*	救急医学
395	日本救急医学会雑誌 22 (7) : 350-351, 2011	熱中症の新しいリスクファクターとしての熱不安定性フェノタイプ症	織田 順	救急医学
396	日本外科感染症学会雑誌 8 (4) : 349-358, 2011	骨盤外傷と感染	金子 直之	救急医学
397	BMC Research Notes 6: 4-107, 2011	Hyperoxia accelerates Fas-mediated signaling and apoptosis in the lungs of Legionella pneumophila pneumonia	Maeda T. *	感染制御部
398	BMC Microbiology 17: 11-5, 2011	Molecular and virulence characteristics of an outer membrane-associated RTX exoprotein in Pasteurella pneumotropica	Sasaki H.	感染制御部
399	Journal of Infection and Chemotherapy 17 (2) : 195-199, 2011	Measurement of the antimicrobial susceptibility of Pseudomonas aeruginosa by Poloxamer 407 gel	Yamada H.	感染制御部
400	Journal of Infection and Chemotherapy 17 (2) : 214-218, 2011	The performance of the BD geneOhm MRSA™ assay for MRSA isolated from clinical patients in Japan, including the effects of specimen contamination and ways to improve it	Ishikawa H.	感染制御部
401	Journal of Infection and Chemotherapy S17: 105-107, 2011	Anaerobic infections: Infections in the field of orthopedics (primarily bone and joint infections) . Guidelines for diagnosis and treatment of anaerobic infections	Masaoka T. *	感染制御部
402	Journal of Infection and Chemotherapy 17 (4) : 510-523, 2011	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the Japanese Society of Chemotherapy in 2008: general view of the pathogens' antibacterial susceptibility	Niki Y. *	感染制御部
403	Journal of Infection and Chemotherapy 18 (1) : 47-52, 2011	Inhibitory effects of lactoferrin on biofilm formation in clinical isolates of Pseudomonas aeruginosa	Kamiya H.	感染制御部

小計  
12件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
404	日本化学療法学会 雑誌 59 (6) : 597-604, 2011	硫酸アルベカシンの至適血中ピーク濃度を達成するための用量設定試験	木村 利美	感染制御部
405	日本環境感染学会誌 26 (3) : 149-153, 2011	Clostridium difficile感染症に対する経口Vancomycinの至適投与量に関する臨床的および医療経済的效果	添田 博	感染制御部
406	J Infect Chemother 17: 419-23, 2011	Clinical and radiological features of imported chikungunya fever in Japan : a study of six cases at the National Center for Global Health and Medicine	Mizuno Y.	感染制御部
407	日本小児科学会雑誌 115: 653-656, 2011	海外帰国後小児の健康上の問題点	水野 泰孝	感染制御部
408	Clinical Parasitology 21: 9-11, 2010	ガーナから帰国7か月後に発症した卵形マラリアの一例	小林 泰一郎	感染制御部
409	東京医科大学雑誌 (0040-8905) 69 (3) : 397-406, 2011. 7	発熱・背部の激痛で来院された成人男性 (症例検討会)	原田 芳巳	感染制御部
410	東京医科大学雑誌 (0040-8905) 69 (1) : 109-117, 2011. 1	右上肢離断術により救命しえた壊死性筋膜炎の症例 (症例検討会)	山崎 正視	感染制御部
411	日本職業・災害医学会誌 59 : 69-72, 2011	海外勤務者における現地医療機関受診状況の調査	大塚 優子*	渡航者医療センター
412	小児保健研究 70 : 428-433, 2011	途上国に長期滞在する日本人小児の健康問題	福島 慎二	渡航者医療センター
413	日本職業・災害医学会誌 59 : 225-231, 2011	2006年度海外巡回健康相談報告～途上国に長期滞在する日本人成人の有訴率と通院者率	福島 慎二	渡航者医療センター
414	Travel Medicine and Infectious Disease 9: 187-191, 2011	Past, present and future of travel medicine in Japan	Hamada A.	渡航者医療センター
415	東京医科大学雑誌 69 : 312-3206, 2011	日本における渡航医学の現状と未来	濱田 篤郎	渡航者医療センター
416	登山医学 31:66-73, 2011	日本登山医学会の東日本大震災への支援活動	増山 茂	渡航者医療センター

小計  
13件

論文発表等の実績

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部署
417	登山医学 31:213-221, 2011	日本における国際認定山岳医制度の誕生	増山 茂	渡航者医療センター
418	日本渡航医学会雑誌 5:7-10, 2011	海外長期滞在者の医療機関利用について	濱田 篤郎	渡航者医療センター
419	運動・物理療法 22(1):85-92, 2011	高血圧、糖尿病、脂質異常症の発症に対する肥満および運動習慣の影響	村瀬訓生	健診予防医学センター
420	東京医科大学雑誌 69巻4号 536-539 2011	東京医科大学泌尿器科におけるロボット支援手術	吉岡 邦彦	ロボット手術支援センター
421	日本臨床 69増刊5 前立腺癌360-364 2011.6	【前立腺癌(第2版)基礎・臨床研究のアップデート】臨床 前立腺癌の治療 外科治療 ロボット支援前立腺全摘除術	並木 一典	ロボット手術支援センター

小計  
5件

合計  
421件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長（坪井良治）
管理担当者氏名	事務部長（松田功）、薬剤部長（明石貴雄）、総務課長（出家敏之） 医事課長（篠崎功）、人事課長（中野隆介） 中央病歴室長（山本謙吾）、安全管理室長（内野博之） 感染制御部長（松本哲哉）、臨床工学部長（内野博之）、各診療科長 総合相談・支援センター長（岩淵篤敬）

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書		総務課 薬剤部 中央病歴室	日誌等はファイルにより保管。 診療に関する諸記録はターミナ ルディジットファイルリング方 式を取り、入院・外来別に1患者1 ファイルを原則に保管管理して いる。
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳 簿	人事課	担当する各部門において、コン ピュータ又はファイル等による り保管し管理している。
	高度の医療の提供の実績	各診療科 医事課	
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	各診療科 研究支援室	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳 簿	薬剤部 医事課	担当する各部門において、コン ピュータ又はファイル等による り保管し管理している。	
第規 一則 号第 一に 掲条 の る十 一 体第 一 確 保各 の号 状及 び第 九 条の 二 十 三 第 一 項	医療に係る安全管理 のための指針の整備状 況		安全管理室
	医療に係る安全管理 のための委員会の開催 状況		安全管理室
	医療に係る安全管理 のための職員研修の実 施状況		安全管理室
	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況		安全管理室
	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況		安全管理室
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況		感染制御部
	医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況		安全管理室
	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談 に適切に応じる体制の 確保状況		安全管理室 総合相談・ 支援センター

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一 一条の 十一 第一 一項各 号及び 第九 条の二 十三第 一項第 一号に 掲げる 体制の 確保の 状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部 放射線部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部 放射線部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部 放射線部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部 放射線部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長（坪井良治）
閲覧担当者氏名	事務部長（松田功），薬剤部長（明石貴雄），総務課長（出家敏之） 医事課長（篠崎功），人事課長（中野隆介） 中央病歴室長（山本謙吾），安全管理室長（内野博之） 感染制御部長（松本哲哉），臨床工学部長（内野博之），各診療科長 総合相談・支援センター長（岩渕篤敬）
閲覧の求めに応じる場所	本館6階 会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	2 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	1 件
	地方公共団体	延	1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	54.6 %	算定期間	平成 23年 4月 1日～平成 24年 3月 31日
算出根拠	A：紹介患者の数		24,685 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,422 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		3,339 人
	D：初診の患者の数		64,135 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>ア. 医療安全管理に関する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①質の高い医療には、安全管理体制のより一層の充実を目指す必要が重要である。</li><li>②前項の体制の確保は、すべての医療従事者の責務であり、全ての教職員が医療の質の向上と安全の推進に取り組まなければならない。</li><li>③病院は、個人の努力に依拠する安全管理には限界があることを認識し、組織を挙げた安全システム構築に努める必要がある。</li><li>④人間は誤りをおかすという前提に基づき組織的な対策をたてる</li><li>⑤事例に学ぶ姿勢を堅持する</li><li>⑥職員間のコミュニケーションの障壁を排除する</li><li>⑦医療を取り巻く環境の変化を常に捉え、高い技量レベルを確保する</li><li>⑧インフォームド・コンセントの意味を理解しその充実を図る</li></ul> <p>イ. 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①安全管理指針で規定する医療に係る安全管理のための委員会設置</li><li>②安全管理室長・統括安全管理者・医療安全管理者設置および役割に関する事項</li></ul> <p>ウ. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針</p> <p>エ. 院内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善策に関する基本事項</p> <p>オ. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>(①報告、②患者・家族(遺族も含む)への対応、③記録、④関係機関への連絡、⑤事故調査、⑥公表)</p> <p>カ. 医療従事者と患者の情報の共有に関する基本方針</p> <p>キ. 患者相談への対応に関する基本方針</p> <p>ク. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故発生防止のための総合的な対策と施設及び設備の改善計画の立案</p> <p>(2) 医療事故等発生状況の把握及び調査検討・病院報告制度の整備</p> <p>(3) 発生した重大な医療事故への対応と、改善策の職員への周知徹底</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 93 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 医療法に定められた従業員必須研修の実施安全に係わる研修は6月と11月に開催している。当院には全職員を収容講堂などの会場がない(320人程度が限界)ため、同内容の研修を月～金曜日の連日行っている。これまで、当日参加できない者に対しては、①後日ビデオ上映をする②CDを貸し出すなどの方法を行っていた。しかし、直接生講演を聴くことが最良と考え、本年度から聴講しやすい環境の工夫として、“5日間連日同内容”の講演を開催する方法とした。それでも参加ができなかった者には、これまで同様にビデオ上映によりフォローをしている(1講演につき、時間と曜日を変えながら実施、本講演10回、ビデオ上映会19回実施)。研修参加状況把握では、職員番号をカードリーダーに通す方法で管理し、個人別、所属別の参加・不参加を把握している。その上で、不参加者には診療科長・所属長(責任者)に不参加者リストを配信し、ビデオ上映会に参加を促すなどの対策を講じている。</p> <p>2) メモリアルデー(医療安全を誓う日)の開催 当院独自の職員聴講義務研修会である。 当院の重大医療事故発生を契機に、平成17年より「医療安全を誓う日」として、毎年8月第1土曜日に実施している。患者、市民、従業員を対象として実施している(本講演1回、ビデオ上映21回)。</p> <p>3) 中心静脈(CV)ライン挿入に関する研修(知識・技術研修などを含め22回) 当院でCVラインを挿入するためには、院内規定に沿った審査を受け認定される必要がある。5年目以上の医師は条件を満たすと「認定医」となり、研修医は「施行医」として認定される。CVラインを安全に挿入するための教育はCVライン管理部会が担っており、知識、技術の研修を定期的に行っている。手技の習得は、卒後臨床研修センターと協力して実施している。</p>	

#### 4) 中途採用・帰任者必須研修の実施

これまで、中途採用・帰任者への安全研修は、配属先の所属にほぼ一任した状態であった。これを改め、毎月1回定期開催している。安全・感染・個人情報などの安全に関する情報共有と周知を行っている。個人および所属長（責任者）に受講案内を通知し、当日は、カードリーダーで出欠席を管理し、研修受講後には「理解度自己チェック」により、研修の周知状況などの把握に努めている。

#### ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備 (  有  無 )

・その他の改善のための方策の主な内容：

(1) インシデント・アクシデントレポート報告方法の変更 → イン트라ネットでの報告

(2) 医療事故報告範囲基準の変更

(3) 日本医療機能評価機構への報告

(4) 医療事故防止および医療の質確保に関する活動

・全死亡例患者の報告制度とその検証委員会（クオリティマネジメント小委員会）の設置

(5) 医療安全推進委員会（多職種混成チーム）による定期的院内巡視と評価

(6) 情報の一元化（職員が知っておくべき共有ファイルの指定と管理）

(7) 多職種による合同カンファレンスの推進

(8) インフォームド・コンセント時の複数立ち会いの推奨（看護師の立ち会いの推奨）

(9) 医療安全情報の配信（急告等）

(10) 「安全管理ポケットマニュアル」の改定作業

(11) 抗がん剤、高カロリー輸液などの中央調剤システムの構築

(12) 院内「内部通報制度」の構築等

(13) 病院倫理委員会の設置によるコンプライアンス（法令遵守）に関わる活動

1) 学校法人設置のコンプライアンス推進委員会へ出席し情報を共有

2) 病院倫理委員会へ出席し情報を共有

3) 終末期医療のあり方に関するガイドライン作成

4) 非輸血患者の対応に関するガイドライン作成

5) 包括同意に関する文章作成

(14) 三施設間安全相互ラウンドの実施

東京医大病院には三施設の病院がある。今年度から、同系列病院として安全管理の質向上と相互理解、情報共有などを図る目的で、三キャンパス医療安全相互ラウンドを実施。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (4名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (9名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無

- ・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (3) 名
- ・ 活動の主な内容：

- (1) 安全管理委員会開催のための資料準備および議事録作成と管理
- (2) 医療安全推進に関わる各委員会の開催と資料作成、議事録などの管理
  - 1) 医療安全推進委員会の開催
  - 2) クオリティマネジメント小委員会の開催
  - 3) CVライン管理部会の開催
  - 4) AED委員会開催 他
- (3) 各部門の医療安全管理者 (リスクマネジャ) の研修に関する運営と評価
- (4) 各部門における医療安全推進の状況把握と評価
- (5) 安全に関する他委員会との連携強化
  - 1) 感染症対策委員会との連携と情報共有
  - 2) 医薬品安全管理責任者との連携と情報共有
  - 3) 医療機器安全管理責任者との連携と情報共有
  - 4) 個人情報保護委員会との連携と情報共有
  - 5) 総合相談・支援センターとの連携と情報共有
  - 6) がん化学療法レジメン審査委員会との連携と情報共有
  - 7) 中央手術部運営委員会との連携と情報共有
- (6) 医療事故など発生時の対応と指導、職員への周知
  - 1) 医療事故発生時の原因究明に関する調査および対策に関する活動
  - 2) 分析対策委員会および事故調査委員会開催に関する資料準備、議事録作成と管理等

- 3) 管轄官庁届出に関する作業および記録類の管理
- 4) 職員への指導および援助、再発防止に関する対策構築
- 5) 患者、家族への対応
- (7) 医療安全に係る取り組みの評価を行うためのカンファレンスの実施  
病因死因検討会を開催
- (8) 医療安全に係る職員への教育研修会の企画と運営と評価
- (9) 患者、家族への相談に関する医療安全管理者の活動実施記録などの管理
- (10) その他医療安全対策の推進に関すること

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

⑦・無

(様式第 13-2)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策の基本的な考え方を示して、感染症発生防止に留意し、発生時には速やかな制圧を全職員で図る。</li><li>2. 病院長直属の中心的な組織、感染制御部を設ける。</li><li>3. 対策の病院全体への周知・実施を行っていくため、感染症対策委員会と感染対策小委員会の設置、感染リンクドクター・リンクナースを配備する。</li><li>4. 病院職員に対しては基本的な考え方や具体的な方策に関する研修会を開催する。</li><li>5. 感染症に関する注意情報を随時発するとともに、院内における耐性菌の検出状況を委員会・診療合同会議にて報告する。</li><li>6. 感染症発生時には職員は、すみやかに感染制御部へ報告し、感染制御部は原因究明・改善策を委員会にあげる。委員会から全職員に改善策を周知徹底させる。</li><li>7. 指針は患者その家族が閲覧できる。患者・家族にも感染防止の意義や手技を説明し、協力を求める。</li><li>8. 職員はマニュアルを遵守するとともに、自らの健康管理に留意する。</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 微生物検査室からの耐性菌分離レポートの集計結果による発生動向の把握と分析</li><li>2. 感染制御部病棟ラウンド状況の報告（対象：血液・髄液培養分離例、広域抗菌薬長期間投与例、耐性菌分離例、アウトブレイク事例等）</li><li>3. 感染制御部立案の具体的対策案について、各種職種代表者による審議</li><li>4. 対策案・注意喚起情報の職員への周知（診療合同会議・科長会議・師長会議・総医局会・中央診療部門の各部署での会議や院長通達、サイボウズや書面等による委員会からの情報発信など）</li><li>5. マニュアル・ガイドラインなど院内全般に渡る規約の最終決議</li></ol>	

③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 73 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>(1) 新採用者オリエンテーション：院内感染対策組織・マニュアル、標準予防策、感染経路別予防策針刺し・切創防止対策、医療廃棄物、洗浄・消毒・滅菌の基本、手指衛生・個人防護具着脱演習</p> <p>(2) 医療安全講演：感染予防策の基本、クレーム対応、危険薬物の取扱い、個人情報保護について</p> <p>(3) 感染リンクドクター勉強会：クロストリジウム腸炎の診断・治療・感染対策、血液培養の採取方法と実際の状況、TDMを活用した抗菌薬療法、微生物検査の流れ、アウトブレイクしやすい感染症、院内ラウンド結果報告</p> <p>(4) 感染リンクナース研修：標準予防策、感染経路別予防策、手指消毒、PPE着脱、耐性菌検出時の感染拡大防止対策、季節性流行疾患の予防と対策、感染リンクナースの役割、年間目標・活動計画、速乾性擦式アルコール製剤使用量報告、独立空調ユニット・陰圧個室病室の説明および見学グループディスカッション</p> <p>(5) 臨床研修医のためのレクチャー：感染症診療のフレームワーク、血液培養、微生物・抗菌薬培養検査とその解釈、感染症治療の評価</p> <p>(6) 委託業者への勉強会：病院清掃における感染対策</p> <p>(7) 中途採用・帰任者医療安全研修会：医療安全、感染対策、個人情報</p> <p>(8) その他：造影剤静脈注射専任看護師研修（標準予防策、感染経路別予防策、血液体液被爆防止対策、血流感染予防策）、外来ブロック勉強会（耐性菌対策、季節性疾患対策）、感染シュミレーション研修</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備（<input checked="" type="radio"/>有・無）感染症リストによる電話・報告書提出</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 耐性菌発生を減らすための広域抗菌薬一定期間使用者リストアップ・血液培養陽性者/耐性菌検出者リストアップに対する現場のラウンドによる指導</p> <p>(2) 院内感染対策ラウンドによる基本手技、医療行為、病院環境のチェックと指導</p> <p>(3) マニュアルの見直し・検討・改訂</p> <p>(4) 感染リンクナースの年間活動計画に基づくグループ活動の実施</p> <p>(5) 感染リンクナースによる自己チェック表を用いた自己評価と改善活動報告</p> <p>(6) 部署、診療科別の耐性菌検出者・感染者のサーベイランス情報による注意情報発信</p> <p>(7) 健康管理室との協同によるワクチン接種プログラムの計画立案・実施・評価</p> <p>(8) 地域医療機関による感染症研究会開催による医療関連感染対策のための勉強会</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	① 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・研修の主な内容： (1) 新規採用者研修（麻薬の管理、劇・毒薬の管理、向精神薬の管理、覚せい剤原料の管理、血漿分画製剤の管理） (2) 医薬品に関する研修（全職員対象：医薬品被害副作用救済制度について） (11/5～11/9 までの研修開催予定)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 ( ① 有・無 ) ・業務の主な内容： 手順書及びチェックシートを作成した。チェックシートによる業務の確認は病院全体及び薬剤部については年 2 回、病棟については月 1 回行い、期限切迫医薬品の回収も併せて行っている。採用医薬品については医療安全の観点からも検討している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 ( ① 有・無 ) ・その他の改善のための方策の主な内容： (1) 医薬情報室には専任薬剤師を 3 名配置している。 (2) 医薬品の安全使用に関する情報は厚生労働省ホームページ、インターネット、新聞、雑誌、製薬企業等から入手し必要に応じて加工し、イントラネット（薬剤部ニュース）、薬事ニュース、各種会議で解説・周知している。 (3) 外観変更医薬品の画像を薬事ニュースに掲載、隔壁未開通事例の多い輸液の採用中止、プレフィルドシリンジの積極的採用を行っている。 (4) 抗がん剤のオーダーは休日を含め薬剤部で全数チェックしている（レジメン、投与間隔等） (5) 入院患者の抗がん剤の点滴調製を薬剤部で実施している。 (6) 手術室、ICU・CCUにも薬剤師を配置し医薬品の適正な使用、在庫管理をしている。 (7) 処方せん疑義照会を集計・分析して、診療科に必要な情報を提供している。	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 95 回 (含む放射線機器)
<p>・研修の主な内容：</p> <p>人工呼吸器をはじめ、厚生労働省の指導事項である特定管理医療機器の7機種(粒子線照射装置は保有しない)等及び新規採用時の機器に対しての説明会や研修会を、関係する医療従事者に対して、有効性・安全性・使用方法・保守点検に関する事項、その他不具合が発生した場合の対応、使用に際し法令上、遵守すべき事項などについて実施している。(人工呼吸器、人工心肺と補助循環、除細動器、血液浄化装置、閉鎖式保育器、高エネルギー放射線装置、放射線照射装置、輸液ポンプ、シリンジポンプなど)</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の策定 (○・無)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>人工呼吸器、人工心肺と補助循環、除細動器、血液浄化装置、閉鎖式保育器、高エネルギー放射線装置、放射線照射装置、輸液ポンプ、シリンジポンプなどに対して、年度計画にもとづきメーカーによる年1~2回の定期保守点検のほか、使用前・使用中・使用後点検等を、臨床工学部内及び現場の医師・看護師・技士(師)により実施している。今年度より、臨床工学部では中央管理業務の業務委託を導入し、医療機器管理の質の向上を図っている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (○・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>メーカーや日本医療機能評価機構、PMDA等から出される情報の収集は、関連部署はもとより安全管理室・臨床工学部・事務部資材課にて行われており、必要に応じて、安全管理室より緊急情報として院内全体に発信される。部門対象の機器については、当該部署の関係者へ報告周知している。機器の安全使用を目的とした改善の実施については、院内配置の除細動器について、ペーシング機能付きに機種統一を図って今年度にて完了となった(一部モジュールあり)。また、シリンジポンプのリース期間が年度末に満了となり新機種への更新を検討したが、機種が変われば、一時的でも現場の混乱は避けられないため、安全を優先し現有機(同機種)への更新をした。</p>	